

令和7年度使用中学校教科用図書
調査研究結果報告書

理 科



京築教育事務所管内教科用図書調査研究協議会

中 学 校 教 科 書 一 覧

教科書種目	理 科
-------	-----

発行者名	番号	略称	教科書名(シリーズ)
東京書籍(株)	2	東 書	新編 新しい科学
大日本図書(株)	4	大日本	理科の世界
学校図書(株)	11	学 図	中学校 科学
教育出版(株)	17	教 出	自然の探究 中学理科
(株)新興出版社啓林館	61	啓林館	未来へひろがるサイエンス

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
理科	2	東書	新編 新しい科学

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領の「目標」「内容」「内容の取扱い」に示された事項の全てについて不足なくとり上げ、エネルギー、粒子、生命、地球の4概念に沿って単元を構成している。また、季節的な学習の適期に配慮し、身近な自然をとり上げながら、学習をすすめることができるようになっている。
	2 内容に関する配慮事項	○ イラストの登場人物が吹き出しで発問をし、疑問に思ったことをつぶやくようなイラストが多く掲載されており、生徒の興味・関心を喚起したり、科学的な思考を促したりすることができるように工夫されている。 ○ 各単元に「じっくり探究」を設定し、生徒どうしの対話の具体例や「科学の見方・考え方」を示すことで、「主体的・対話的で深い学び」が実現できるように配慮されている。
	3 分量	○ 各学年とも、総授業時数の9割程度で指導できるように時数配分がされており、指導計画上無理なく、ゆとりをもって学習を進められるように編集されている。
	4 使用上の便宜	○ 観察や実験の説明において、視線の移動が少なく、上から下へ自然に流れるように手順をレイアウトすることで、注意事項などを確認しやすくするとともに、スムーズに活動に移ることができるように工夫されている。 ○ AB判を使用することで、写真やイラストが大きく載せられ、内容が伝わりやすくなっていると同時に、QRコードを読み取ることで、「章末問題」や「資料動画」などのコンテンツを容易に参照できるように工夫されている。
	5 印刷・製本等	○ 本文、図、注釈などの書体等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。 ○ イラストよりも、実物の写真が多く、実感を伴った理解が進むように工夫されているとともに、写真の裏ページが透けて文字が読みにくくならないように、不透明度の高い紙が使用されている。
教科ごとの選定の観点		1 「問題発見 レッツ スタート!」「仮説 ?(課題)に対する自分の考えは?」「構想 調べ方を考えよう」「分析・解釈 考察しよう」「検討・改善 解決方法を考えよう」など、探究の過程に直結した活動を配置することにより、自然の事物・現象を科学的に探究することができるようになっている。 2 各単元や各章などの導入部で、身のまわりの事象について考える場面が多く設定されており、興味・関心を高め、生徒自身が主体的に取り組めるような構成になっている。 3 観察・実験においては、手順と結果が同一の見開きに配置されないようになっており、生徒自らが規則性を見いだして理解できるように工夫されている。 4 各単元・各章の学習前と学習後に同じ問いかけ「Before & After」を設定することで、学ぶ意味や有用性が生徒自身の成長とともに実感できる構成となっている。

	5 第1分野については、物質やエネルギーに関する事物・現象についての観察・実験などを通して、生徒が科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することができるよう、適切に工夫・配慮されている。 6 第2分野については、生命や地球に関する事物・現象についての観察・実験などを通して、生徒が科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することができるよう、適切に工夫・配慮されている。 7 エネルギー、粒子、生命、地球の4つの概念に沿って単元構成がなされており、季節的な学習の適期に配慮し、身近な自然をとり上げながら、学習をすすめることができるようになっている。また、「これまでに学んだこと」や「発展 高校（発展的な学習内容）」で、既習内容や上位学年・高等学校につながる内容をとり上げ、内容の一貫性がはかれるように工夫されている。 8 観察・実験のページには、「観察・実験の目的」「方法」「結果」「結果の見方」の流れが具体的に記載されており、科学的に探究する力と態度の育成が段階的に無理なく育成できるようになっている。 9 「私たちのSDGs」などのコラムで、自然との関わりなどについて意識が高められるようになっている。 10 QRコンテンツ「情報を活用して学習を進めよう」を使って、ICT機器を使用し、機器の使い方の基礎が身につけられるようになっている。また、インターネットで情報検索する際の上手な利用の方法なども紹介されている。 11 「月の位置と形の変化」を調べる実験では、継続的な観察が行えるように工夫されている。また、全国各地の動物園や水族館、博物館が紹介され、身近な地域にある施設を活用して学べるようになっている。 12 「社会につながる科学」では、科学が社会においてさまざまな職業で役に立っていることが紹介され、科学の有用性が表現されている。また「お仕事図鑑」では、さまざまな仕事と学習内容の関連付けが取り上げられている。 13 注意事項を「注意」という赤文字で示しており、事故防止に配慮されている。また、薬品については、巻末に注意が必要な薬品が一覧でわかるようになっている。
--	--

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
理科	4	大日本	理科の世界

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○ 学習全体を通して、生徒の素朴な疑問を大切に、それを探究する過程で自然や科学の不思議さに触れる感動を味わい、豊かな情操や道徳心が育まれるように配慮されている。 ○ 学習指導要領に示された内容をもれなく扱うとともに、生徒自らが理科の見方・考え方はたらかせ、見通しをもって活動に取り組むことにより、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成できるように配慮している。
	2 内容に関する配慮事項	○ 単元の配列が、小学校との接続を重視したうえで、観察・実験のしやすい時期や学年によって理科室の使用が重ならないように等、工夫されている。このようにすることで、3年間の理科の学習が、無理なく円滑に進むように配慮されている。 ○ 写真やイラスト、わかりやすい丁寧な資料を掲載することで、生徒の興味・関心を高め、自然の事物・現象に意欲的に関わろうとする態度が育まれるようにしている。
	3 分量	○ 各学年とも配時数にゆとりをもたせており、その時間は「探究活動」や「まとめ問題」「単元末問題」等の補充や発展的な学習に取り組めるように工夫されている。
	4 使用上の便宜	○ 図や表の表現形式が統一されており、わかりやすくなっている。また、資料の表やデータ、写真などは学習内容に適したものが使用されている。 ○ 文章が読みやすく、簡潔な表現が使われており、また、重要な語句はゴシック体で示され、ふり仮名がふられているので誤読防止に配慮されている。 ○ 各単元の最後に「探究活動」が掲載されており、各単元の実験や観察、実習で得た知識等を用いて、最終的に生徒が主体的に課題を見つけて、探究できるように工夫されている。
	5 印刷・製本等	○ 全ページカラー印刷されており、紙質は上質かつ軽量なものが使用されている。また、表紙は丈夫で汚れにくいコーティングがされており、いつまでもきれいな状態で使用できるよう工夫されている。 ○ B5の見開きページで編集されており、持ち運びしやすいサイズで製本されている。また、製本はアジロ綴じが使用され、長期の使用に耐えられる堅牢なものとなっている。
教科ごとの選定の観点		1 身近なことから問題を見つけ、課題を見出せるような構成となっており、自然の事物・現象と関連づけながら科学的に探究を進められるようになっている。また、科学的に探究する指針として、「理科の学習の進め方」を掲載することで、理科の見方・考え方の例示となるよう工夫している。 2 基本操作については、図や写真で手順がわかりやすく示されており、器具によっては、操作方法がわかる動画コンテンツに2次元コードを使ってアクセスできるようになっている。 3 見通しをもって観察・実験ができるように「目的」や「着眼点」が明示

	され、「結果の整理」や「結果から考えよう」で考察・振り返りをすることができ、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する、基本的な技能を身につけることができる内容になっている。 4 魅力的・印象的な写真やイラストを多用することで、生徒の興味・関心を惹きつけ、学ぶ意欲が高まり、自然の事物・現象に主体的に関わろうとする態度が育まれるように配慮されている。 5 物質やエネルギーに関する事象において、学んだことを活用し、自ら課題を見つけ探究する場面を設定することで、規則性を見いだすことができるように配慮されている。 6 生命や地球に関する事象において、学んだことを活用し、自ら課題を見つけ探究する場面を設定することで、規則性を見いだすことができるように配慮されている。 7 「くらしの中の理科」や「Science Press」などで、科学や技術、ものづくり、芸術、数学の領域と横断的に連携した、学びをつなげる・広げる資料が掲載されており、実生活に結びつく内容を自ら考えることで、新しい発見や課題に向かうことができるように配慮されている。 8 観察・実験は、課題に沿った内容となっており、所定の時間内にできるように配慮されている。また、観察・実験のほかに「やってみよう」を示し、興味・関心や理解の程度に応じて取り組める内容を設定することで、個々の生徒の学力がより深まるように配慮されている。 9 各学年の表紙には持続可能な社会をイメージしたテラリウムを掲載し、それぞれの学年の学習内容を環境と関連させて、持続可能な社会に対する意識を高めることができるように工夫されている。また、自然環境や資源に関わる内容には「環境」マークを表示することで、自然環境の保全に寄与する態度を育む配慮がなされている。 10 PCやタブレットなどのICT機器の活用を通して、情報の活用・処理能力が育まれるように配慮されている。また、学習活動を通して、ICT機器やインターネットを利用する上で必要な、情報モラルに留意する態度を育むようになっている。 11 各学年の巻末に「行ってみよう！科学館・博物館」、1年の巻末に「ジオパークを見学してみよう」、1・2年の巻末に「生物を見に行こう！」を掲載することで、校外施設などと学習の連携を図ることができるように配慮されている。 12 巻頭や「Professional」において、理科やSTEAMに関連した職業を取り上げることで、生徒が将来に向けての職業観や、社会の中で自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を実現していく能力が育まれるように配慮されている。 13 各学年の巻末に、その学年で使用する薬品を取り扱う上での注意が示されており、観察・実験では安全や環境への配慮を十分に検討している。また、環境負荷の少ないマイクロスケール実験の手法を採用している。
--	---

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
理科	1 1	学図	中学校 科学

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領に示す事項を不足なく取り上げており、科学的に探究する方法について丁寧に説明し、多様な活動が準備されている。また、資料性が高い写真や図が随所に掲載されており、生徒が学習意欲を高め主体的な学習を行うことができるよう配慮されている。
	2 内容に関する配慮事項	○ 単元のはじめに「Can-Do List」が設定されており、資質・能力の3観点である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力」について、それぞれ「できるようになりたい目標」を明示することで、見通しをもった学習を進めることができるように配慮されている。 ○ 探究活動において、「気づき」「課題」「仮説」「計画」が明確に記載されており、探究の過程がわかりやすくされている。また、「結果」「考察」のポイントが文字で記載されており、「何を調べたら良いのか、何を考えたら良いのか」等、生徒が目的意識をもって観察・実験に取り組むことができるように配慮されている。
	3 分量	○ 各学年とも配時数にゆとりをもたせており、「探究活動」や「まとめ問題」「単元末問題」に取り組めるように工夫されており、余裕をもって学習できるように配慮されている。
	4 使用上の便宜	○ 単元の最初に「振り返ろう・つなげよう」という項目があり、小学校から習ってきたことが明確に分かるようになっている。 ○ 複数の単元にデジタルコンテンツが用意されており、該当する箇所にQRコードが示されている。 ○ 観察・実験等の際の安全に関して注意を促す場面には、「注意!!」マークで示され、注意する観点が示された文章が統一された色枠で囲んで示されている。
	5 印刷・製本等	○ 見やすさと読みやすさを考慮して、A B判サイズで構成されており、書体や色使い、レイアウト等にもユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。また、印刷にあたっては、図や表、グラフ、写真がはっきり見やすくレイアウトされており、生徒の興味・関心を高めるように工夫されている。
教科ごとの選定の観点		1 観察・実験での「気づき」「課題設定」「仮説」「検証計画」「観察・実験」「結果」「考察」などの過程を一連のラインと矢印で表示することで、課題に沿って見通しをもった観察・実験を行うことができるように工夫されている。 2 単元の最後に「学習のまとめ」が設定されるなど、基本的な知識の確認や観察・実験の基本的な技能が丁寧に示され、知識や技能が確実に定着できるような構成となっている。 3 冒頭に探究の進め方が記載されており、また、話し合いを重視した学習活動が多数設定されており、結果を整理して分析・解釈したり、表現したりする力が育成されるように構成されている。 4 身近な生活の中で科学的な探究がどのように役に立つか、マンガ形式で

	わかりやすく解説されているなど、探究意欲を高め、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 5 第1分野において、資質・能力の3観点を明示しており、この分野でどのような力を身につけるのか、「Can-Do List」がはっきり示されていることで、見通しをもって自ら学習を進められるようにしている。 6 第2分野において、資質・能力の3観点を明示しており、この分野でどのような力を身につけるのか、「Can-Do List」がはっきり示されていることで、見通しをもって自ら学習を進められるようにしている。 7 キャラクターの吹き出しや「つながり・数学」などのマークによって、他教科との関連が確認できるように配慮されている。 8 各単元に設定されている「探究」で、さまざまな仮説を検証するための「計画」や、実験結果を分析・解釈する「結果から考察する」などの場面が設けられており、科学的に探究する力と態度の育成が段階的に無理なく育成できるように構成されている。 9 単元はじめの「Can-Do List」や本文中で、生物や自然を大切にすることが促されるように構成されており、生命の尊重と環境保全の態度を育むことができるように配慮されている。 10 観察や実験において、器具の使い方などを教科書右上に表示しているQRコードをタブレット等で読み込むことで、動画で確認できるように工夫されている。 11 2学年の「気象」や3学年の「天文」の単元では、「継続観測」と明示された課題が設定されており、計画的な観察・観測を粘り強く行う姿勢を育成できるように配慮がなされている。 12 「学習内容と仕事」などで、職業を通じて科学を学ぶ意義や有用性を理解し、意欲的に学習を進めることができるように配慮されている。 13 注意事項を「注意」という文字とともに具体的に記述しており、事故防止に配慮されている。また、廃液の処理など、環境面への配慮を喚起するための注意事項が示されている。
--	---

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
理科	1 7	教出	自然の探究 中学理科

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領に示す事項を不足なく取り上げており、観察・実験においては、目的意識をもって課題にとりくめるように、「課題」「準備」「方法」「結果」「考察」を行い、まとめにおいても科学的な思考力・表現力を育むようになっている。 ○ 単元ごとに「要点と重要用語の整理」や「基本問題」があり、基礎・基本の定着を図ることができるようになっている。
	2 内容に関する配慮事項	○ 各単元末に重要語の整理や、基本問題、活用問題が掲載されており、それぞれの単元で、基礎的・基本的な知識や技能を習得できるように配慮されている。 ○ 実験・観察において、「目的」が明確であり、「準備物」「方法」「結果」「考察」が記載されており、探究の過程がわかりやすく表記されている。また、探究の進め方も記載されている。さらに、実験の流れがワークシート形式でわかりやすく表示されている。
	3 分量	○ 探究活動が多く設定されており、ゆとりをもって探究的な学習が進められるように、各学年とも所定の年間配当時数の9割程度で指導できる内容で構成されている。
	4 使用上の便宜	○ 観察・実験では、手順を縦1列に配置して矢印のラインをつけ、手順の文とイラストが対応するように工夫されている。 ○ QRコードを読み取ることで、「生物カード」や「粒子モデル」など関連画像や資料を容易に読み取る事ができるように工夫されている。 ○ 単元の最後に「学習のまとめ」というページがあり、単元で学んだ内容について整理できるように配慮されている。
	5 印刷・製本等	○ AB版を採用し、学習すべき内容や活動を削減することなく、総ページ数と重量を大きく軽減することで、持ち運びやすくなるように配慮している。 ○ 文字の大きさを学年に応じて変えており、ほぼすべての書体にUDフォントが取り入れられている。また、カラーユニバーサルデザインに配慮し、どの色覚特性でも判別ができるように配慮されている。
教科ごとの選定の観点		1 各学年の巻頭に「探究の進め方」をわかりやすく表現するとともに、単元内にも同様の表現を用いて「疑問を見つける」「課題を決める」「仮説を立てる」「計画を立てる」「観察する・実験する」「考察する」「結論を示す」の順で展開することで、生徒が見通しを持って学習を進めることができるように配慮されている。 2 観察や実験の方法の説明では、基本的な器具や機器の使い方がイラストとともにわかりやすく説明されており、観察・実験において目的に応じた器具や機器を使用して、基本的な技能が習得できるようになっている。 3 思考力、判断力、表現力等の育成のため、第1学年では、自然の事物・現象に進んで関わり、それらの中から問題を見出す活動、第2学年では、解決する方法を立案し、その結果を分析して解釈する活動、第3学年で

	は、探究の過程を振り返る活動などに重点が置かれ、3年間を通じて科学的に探究する力の育成を図ることができるように配慮されている。 4 導入部で、生徒が実際に調べてみたくなる魅力ある事象や、2つの異なる事象を効果的に提示することで、生徒が自然に対して関心や調べる意欲を喚起することができるように工夫されている。 5 第1分野では、物質やエネルギーに関する事物・現象について科学的に探究を進める中で、観察・実験・観測・実習が適切に位置づけられていて、自然の事物・事象をよりよく理解できるように配慮されている。 6 第2分野では、生命や地球に関する事物・現象について科学的に探究を進める中で、観察・実験・観測・実習が適切に位置づけられている。特に、野外観察や継続観測を適切に位置づけるなど、自然の事物・事象への直接的な取り組みを通して、よりよく理解できるように配慮されている。 7 「これまでの学習」を示すことで小学校と中学校の内容の一貫性がはかれるようするなど、小学校や高等学校の学習内容との関係に留意されており、内容の理解や科学的な概念の形成、自然の事物・現象を科学的に探究する力や態度の育成がなされるように配慮されている。 8 「準備」「方法」「結果」「考察」の流れが確立しており、検証方法を話し、考えを深め合う学習場面や結果をもとに考察を行い、レポートの作成、発表、討論など知識および技能を活用するなどの学習場面が豊富に設けられている。 9 生物のつくりとはたらきの精妙さが認識できる実験・観察が多く掲載されており、生命に対する畏敬の念や生命を尊重する態度を培えるように配慮されている。また、科学読み物「ハローサイエンス」などで自然環境の保全に関わる話題を積極的に取り上げ、生徒の自然環境の保全に対する関心が高まるように配慮されている。 10 計測による定量化を行う実験については、読み取った数値を記録できる表が用意されているほか、「まなびリンク」コンテンツとしてグラフシートが用意されており、コンピュータを使用した観察・実験のデータ処理やグラフ作成などに対応できるように配慮されている。 11 各学年の巻末資料「郊外の施設を活用しよう」で、それぞれの地域にある博物館や科学学習センター、プラネタリウム、動物園などの施設の例を示したり、活用を促したりすることで、それらの施設の活用を学習に位置づけられるように配慮されている。また、学習の中で施設や専門家を活用している例が紹介されたり、博物館に実際に展示されている標本の例が紹介されたりすることで、学校外の施設や人材を学習に活かすように工夫されている。 12 日常生活や社会生活と関連の深い科学技術の成果物を、学習した原理や法則と関連させながら紹介しており、さまざまな原理や法則が科学技術を支えていること、それらが日常生活や社会に深く関わりを持っていることが認識できるようになっている。 13 気体が発生する実験には「室内換気」、薬品などが目に入る恐れのある実験には「保護眼鏡」、廃液が出る実験には「廃液処理」の3種類の指示のマークを付すことで、安全や環境への配慮が徹底されるようにしている。
--	---

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
理科	6 1	啓林館	未来へひろがるサイエンス

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領に示す事項を不足なく取り上げており、どの単元、実験・観察でも、理科の見方・考え方ははたらかせて、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成できるようになっている。 ○ 基礎的・基本的な知識・技能が、確実に定着するように工夫されているとともに、発展的な学習内容やQRコンテンツが効果的に掲載され、個に応じた学習に対応している。
	2 内容に関する配慮事項	○ 「探Q実験」「探Qシート」で、対話を通して仮説を練り上げたり、条件をそろえて実験を計画したりする活動が設定されている。 ○ 「結果の書き方」、「考察の書き方」のポイントが明確に記載されており、生徒が何についてどのように書けば良いかがわかりやすくなっている。 ○ 単元の最後の「学んだ後にリトライ」で、単元を学ぶ前と後で自身の考えがどのように変わったかを振り返ることができるようになっている。
	3 分量	○ 探究活動が多くあり、学習指導要領の内容・取り扱いに基づき、配当時間数は余裕をもって指導できるように配慮されている。 ○ 観察・実験は、「生徒観察・実験」、「ためしてみよう」、「図示実験」の3段階に設定されており、柔軟な指導に対応できるように配慮されている。
	4 使用上の便宜	○ 生徒観察・実験は、「目的」「方法」「結果」「考察」の過程が1本のラインで示され、見通しをもって観察・実験を行えるように配慮されている。 ○ 図や写真を紙面上部に集めており、視覚的に対象物が認知できるように工夫されている。 ○ QRコードを読み取ることで、「振り返りシート」や「解説動画」など、関連画像や資料を容易に読み取る事ができるように工夫されている。
	5 印刷・製本等	○ 1年の文字サイズは、小学校理科6年と中学校理科2・3年の中間サイズに設定されており、生徒が小学校の教科書から中学校の教科書にスムーズに移行できるように配慮されている。 ○ 教科書はAB版サイズが採用され、広げやすく書き込みがしやすい「あじろ綴じ」製本が採用されているため、紙面をより大きく有効に活用でき、見やすさと読みやすさ、学習意欲の向上に配慮されている。
教科ごとの選定の観点		1 「学習の導入」「学習課題」「計画・予想」「観察・実験」「結果」「考察」「まとめ」の流れを意識した教科書編成になっており、科学的に探究できるような活動が多く記載されている。 2 実験観察の技能について、丁寧に示されており、QRコードから映像教材が視聴できるようになっている。また、単元の最後には、「学習のまとめ」が設定されており、基礎的・基本的な技能の定着と確認を行うことができるように配慮されている。 3 生徒観察・実験には「探究のふり返し」が設定されており、仮説や計画の妥当性を吟味したり、新たな課題を探したりして、深い学びにつながるように工夫されている。

	4 学習のまとまりが「章導入→節スタイル→学習課題→計画や予想などの活動→観察・実験→結果の考察→まとめ」と構成されており、教科書全体を通じて探究的な学習を繰り返すことで、主体的・対話的で深い学びが実現できるように工夫されている。 5 第1分野の物質やエネルギーに関する事物・現象についての内容区分に照らし、科学的に探究を進めるために必要な資質・能力を育成するための内容が適切に取り上げられている。 6 第2分野の命や地球に関する事物・現象についての内容区分に照らし、科学的に探究を進めるために必要な資質・能力を育成するための内容が適切に取り上げられている。 7 学習を進める上で、どの単元から学習をはじめても支障がないように構成されている。また、同一学年の別の単元でも登場する用語が相互に参照できるように工夫されている。 8 観察・実験は、授業で取り組む「生徒観察・実験」、演示実験や代替実験として活用できる「ためしてみよう」、「図示実験」の3段階に設定されており、柔軟な指導に対応できるように配慮されている。 9 多くの動植物や自然環境が紹介されており、自然の共通性・多様性と豊かさに目を向けられるようになっている。また、持続可能な社会への意識が高まるように「SDGsマーク」を各所に表記しており、全学年の巻末では「地域・環境資料集 SDGs 目標達成への取り組み」をとり上げている。 10 全学年で提示されている「ICTでトライ」において、タブレットやPC、データロガーなどのICT機器の活用が有効な場面・方法が表示されており、画面上で操作して実験・実習を行うQRコンテンツも準備されている。 11 全学年に継続的な観察・観測が設定されており、計画的な観察・観測を粘り強く行う姿勢を育てる配慮がなされている。また、科学館や博物館などの地域施設が、学習内容に関連した適所で紹介されている。 12 節末に設定されている種々の科学コラム、生徒の学校生活に直結する「部活ラボ」や、キャリア教育につながる「仕事ラボ」、食育につながる「お料理ラボ」、防災・減災の意識を高める「防災減災ラボ」、学んだ内容の広がりや深まりが実感できる「深めるラボ」を掲載することで、生徒の学習意欲を高め、理科を学ぶ有用性を実感することができるよう配慮されている。 13 観察・実験の素材は入手しやすいものが選ばれ、器具は安全かつ確実に観察・実験を進めることができる一般的なものが使用されている。また、薬品や廃液が少ない環境に配慮された実験法には「環境マーク」がつけられている。
--	---

令和7年度使用中学校教科用図書
調査研究結果報告書

音楽・器楽



京築教育事務所管内教科用図書調査研究協議会

中 学 校 教 科 書 一 覧

教科書種目	音 楽（一般）
-------	---------

[illegible]

教科書種目	音 楽 (器楽合奏)
-------	------------

[illegible]

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
音楽 (一般)	1 7	教出	中学音楽 音楽のおくりもの

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	音楽科の目標を、着実に達成できるような教材や学習活動が充実している。歌唱・鑑賞・創作教材は、各学年生徒の発達段階や能力に即した適切な扱いである。
	2 内容に関する配慮事項	学習指導要領の各学年の目標や内容に対応した題材が、系統性と発展性をもって組織され、その題材を軸に教材が配置されている。 教材は全学年を通した領域・分野ごとの系統性に基づいて配置され、無理のないステップアップと学力の定着に配慮されている。 生徒への助言、解説が適切になされており、写真・図版なども学習に応じ、生徒の興味・関心を引き出すようなものが用意されている。
	3 分量	教材は、各学年の授業時数とカリキュラムマネジメントの実態に応じて過不足なく扱われ、各教材は学習内容が明示されるとともに、活動の手順やポイントが簡潔に表記されるなど分量は適切である。
	4 使用上の便宜	他者と協働しながら表現を工夫したり音楽や演奏のよさや価値を考えたりする学習を展開するため、キャラクターによって具体的な内容を示したり、〈Active!〉〈表現の仕方を考えよう〉〈話し合おう〉で考えたことを交流させやすいように配慮されている。 多彩な楽器が登場する鑑賞教材では、楽器の特徴を捉えたイラストと、巻末の写真資料で詳しく確認できるよう工夫されている。
	5 印刷・製本等	楽譜や文字は適切な大きさと、鮮明で読みやすい配慮がされている。また、印刷は鮮明で、写真や挿絵が適切に施されており、多様な生徒に使用されるための配慮がされている。
教科ごとの選定の観点		1 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わることができる内容になっている。 2 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけることができる内容になっている。 3 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴く事ができる内容になっている。 4 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培うことができる内容になっている。 5 〔共通事項〕を要として各領域や分野の関連を図ることができる内容になっている。 6 音楽活動を通して、それぞれの教材等に応じ、音や音楽が生活に果たす役割を考えさせるなどして、生徒が音や音楽と生活や社会との関わりを実感することができる内容になっている。

	7 表現及び鑑賞の各活動において、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けることができる内容になっている。 8 歌唱及び器楽の活動において、生徒が我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わい、愛着をもつことができるような内容になっている。 9 創作の活動において、理論に偏ることなく、即興的に音を出しながら音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成していく体験ができる内容になっている。 10 鑑賞の活動において、我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽のうち、指導のねらいに照らして適切な教材（楽曲）を選択することができる内容になっている。
--	---

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
音楽（一般）	27	教芸	中学生の音楽

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	1年及び2・3年の目標と内容を踏まえて精選された教材によって、必要な範囲の内容が十分に、かつ無理なく取り扱えるよう構成されており、音楽科の目標を達成するという観点から極めて適切なものとなっている。また、意欲をもって主体的に学習を進められるよう、各教材において、目標とする学習内容やその方法、考えたいポイント、学習に必要な情報が明確に示されており、適切に工夫されている。
	2 内容に関する配慮事項	音楽活動を通して、無理なく音楽を形づくっている要素を捉えたり、それらを生かして表現や鑑賞の活動を進めたりできるよう、教材が適切に配置され、学習のねらいも分かりやすく示されており、音楽と豊かに関わりながら、学校での学びと自らの生活をつなぐことが出来るよう配慮されている。 また、紙面及び二次元コードのデジタルコンテンツには、生徒の興味・関心に応じて活用できる資料が豊富に用意されており、協働して学習を進める場面も設定されるなど十分に配慮されている。
	3 分量	全体を通して、過不足のない分量の教材が取り扱われ、各教材の学習内容が明確に示されるとともに、それに即した活動の具体的な手立てやヒントが分かりやすく適切に取り上げられるなど、目的に応じた扱い方の工夫がなされている。
	4 使用上の便宜	知覚・感受したことをもとに思考、判断し、理解したことを言葉や音楽で表現できるよう、表現教材及び鑑賞教材において、譜例や図版、吹き出しを用いて説明されている。 ICT機器を活用した学習への対応がなされており、歌唱教材では、曲ごとに付いている二次元コードにアクセスすることによって、旋律とカラピアノを聴くことが出来るなど、タブレット端末を使用して個人での取り組みも出来るようになっている。
	5 印刷・製本等	楽譜を含めた大部分のページでユニバーサルデザインフォントが使用されており、誰もが読みやすい文章や楽譜となるように配慮されている。 文章や歌詞、楽譜などの近くにイラストや写真を配置する場合には、学習上必要な情報に確実に注目できるよう、シンプルなデザインが採用されており、学習障がいなどをもつ生徒への配慮も行き届いている。
教科ごとの選定の観点		1 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる内容になっている。 2 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけることが出来る内容になっている。 3 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴く事が出来る内容になっている。

	4 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培うことができる内容になっている。 5 [共通事項] を要として各領域や分野の関連を図ることができる内容になっている。 6 音楽活動を通して、それぞれの教材等に応じ、音や音楽が生活に果たす役割を考えさせるなどして、生徒が音や音楽と生活や社会との関わりを実感することができる内容になっている。 7 表現及び鑑賞の各活動において、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けることができる内容になっている。 8 歌唱及び器楽の活動において、生徒が我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わい、愛着をもつことができるような内容になっている。 9 創作の活動において、理論に偏ることなく、即興的に音を出しながら音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成していく体験ができる内容になっている。 10 鑑賞の活動において、我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽のうち、指導のねらいに照らして適切な教材（楽曲）を選択することができる内容になっている。
--	--

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
音楽（器楽）	1 7	教出	中学器楽 音楽のおくりもの

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	1年と2・3年の各学年の目標及び内容を踏まえて精選された題材と教材によって、必要な範囲の内容が十分かつ適切に扱われるよう配慮されている。基礎的・基本的な奏法が身につけられるよう題材が各楽器見開き左上に示され、教材ごとに焦点化された学習のめあてが明記され、習得した知識や技能を生かして表現する曲へ着実に到達できるよう工夫されている。
	2 内容に関する配慮事項	各楽器の「まとめの曲」を掲載することで、題材の学習指導から学習評価まで一体化した、きめ細かい配慮がなされている。 現代の生徒の生活や心情に即した教材を取り上げ、写真や学習に関連したWEB上の資料を効果的に用いたりして、生徒の主体的な学びを引き出すよう配慮されている。
	3 分量	各学校や生徒の実態に応じ、基礎・基本の部分と選択できるオプション部分の教材を組み合わせることにより、無理なく学習が進められるよう配慮されている。
	4 使用上の便宜	楽器ごとのインデックス、合奏の難易度表示や活動例を表すアイコンが分かりやすく示されるなど、興味・関心に対する配慮がなされている。 明確な学習のめあてのもと、生徒の興味関心に配慮した教材が用意されており、主体的な学習を引き出せるよう扱いが工夫されている。
	5 印刷・製本等	〈リコーダー運指表〉などの巻末折込を有効に用いて、生徒自身が随所で確かめながら学習に取り組むことが出来るよう工夫されている。 楽譜の大きさ、文字の大きさ、文中の改行位置、写真・図版の大きさ及びレイアウト、イラスト形状など、細部にわたり配慮されている。
教科ごとの選定の観点		1 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わることができる内容になっている。 2 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけることができる内容になっている。 3 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴く事ができる内容になっている。 4 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培うことができる内容になっている。 5 〔共通事項〕を要として各領域や分野の関連を図ることができる内容になっている。 6 音楽活動を通して、それぞれの教材等に応じ、音や音楽が生活に果たす役割を考えさせるなどして、生徒が音や音楽と生活や社会との関わりを実感することができる内容になっている。

	7 表現及び鑑賞の各活動において、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けることができる内容になっている。 8 歌唱及び器楽の活動において、生徒が我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わい、愛着をもつことができるような内容になっている。 9 創作の活動において、理論に偏ることなく、即興的に音を出しながら音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成していく体験ができる内容になっている。 10 鑑賞の活動において、我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽のうち、指導のねらいに照らして適切な教材（楽曲）を選択することができる内容になっている。
--	---

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
音楽（器楽）	27	教芸	中学生の器楽

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	教科及び各学年の目標と内容を踏まえて精選された教材によって、必要な範囲の内容が十分に、かつ無理なく取り扱えるよう構成されており、音楽科の目標を達成するという観点から適切なものとなっている。
	2 内容に関する配慮事項	楽曲の内容は、生徒の心情に合ったものが、様々な習熟度に応じた編曲で取り上げられており、極めて適切なものとなっている。また、歌唱教材、鑑賞教材で扱われている作品を、実際に楽器で演奏することで「音楽」と「器楽」の連携が図れるよう、適切に配慮されている。 人が楽器を演奏することについて、社会とのつながりの中で理解することができるように工夫されている。
	3 分量	各楽器がバランスよく取り上げられており、それらを用いた楽曲についても過不足なく扱われている。また、分量も適切である。
	4 使用上の便宜	プロの演奏家の写真やメッセージなどが豊富に掲載され、楽器への興味・関心・意欲を高めるために適切な内容となっている。 楽器の奏法などについては適切な文章とイラスト、写真を用いて解説されており、楽器の基礎的な技法の習得に配慮されている。
	5 印刷・製本等	全体に区別しやすい配色を用いながら、学習上の必要に応じて形状や濃度を違えるなど、確実に識別できるよう配慮されている。
教科ごとの選定の観点		1 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる内容となっている。 2 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけることができる内容になっている。 3 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる内容になっている。 4 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培うことができる内容になっている。 5 〔共通事項〕を要として各領域や分野の関連を図ることができる内容になっている。 6 音楽活動を通して、それぞれの教材等に応じ、音や音楽が生活に果たす役割を考えさせるなどして、生徒が音や音楽と生活や社会との関わりを実感することができる内容になっている。 7 表現及び鑑賞の各活動において、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けることができる内容になっている。 8 歌唱及び器楽の活動において、生徒が我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わい、愛着をもつことができるような内容になっている。

	9 創作の活動において、理論に偏ることなく、即興的に音を出しながら音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成していく体験ができる内容になっている。 10 鑑賞の活動において、我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽のうち、指導のねらいに照らして適切な教材（楽曲）を選択することができる内容になっている。
--	---

令和7年度使用中学校教科用図書
調査研究結果報告書

美術



京築教育事務所管内教科用図書調査研究協議会

中 学 校 教 科 書 一 覧

教科書種目	美 術
-------	-----

発行者名	番号	略称	教科書名(シリーズ)
開隆堂出版(株)	9	開隆堂	美術
光村図書出版(株)	38	光 村	美術
日本文教出版(株)	116	日 文	美術

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
美術	9	開隆堂	美術 1 美術 2・3

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○学習指導要領が示す美術科の目標を踏まえて、より効果的に学べるよう題材の整理や構成を観点別に掲載している。また、系統的学習を重視した題材を構成しており、内容や範囲も適切である。 ○発達段階に応じて学習に取り組めるとともに、道徳や他教科との関連も題材ごとに示され、生活や社会との関連も学べるようになっている。 ○2・3年が1冊にまとめられ、題材選択できるように配慮されている。
	2 内容に関する配慮事項	○「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「鑑賞」の分野で構成され、各題材で表現と鑑賞を関連させて学習できるようになっている。 ○美術で育てる力を「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つに分け、学習の目標として示されている。 ○【共通事項】は、「学習の目標」の中に示され、全題材で学びが深まるように工夫されている。 ○全題材に題材導入動画をQRコードで示し、生徒の活動への興味・関心を喚起できるようになっている。また、生徒が必要に応じて動画で技法を確認したり、多くの生徒作品を見たりすることもできる。 ○小学校図画工作科からの接続として、見通しを視覚的に捉えられるように構成されている。
	3 分量	○各領域及び分野の内容に偏りがなく適切に配分されている。 ○3年間の発達段階に応じて1と2・3に分け、系統的に配列されている。
	4 使用上の便宜	○教科書の使い方を示すアイコンやキャラクターによって、各ページのどこにどのような学びのポイントがあるかを分かりやすく示してある。 ○ページの上部に題材毎で色別に表示されているので見やすい。 ○折り込みページや大型図版で作品が掲載されており、鑑賞学習への興味・関心を高められるようになっている。 ○美術の用語が示されており、生徒に伝わりやすい工夫がされている。 ○QRコードにどのようなコンテンツが入っているのかを、各題材名の上部にまとめて示し、見て確認することができる。 ○発想を広げるアイデアシート、鑑賞を深める「鑑賞シート」、ふりかえりシートをQRコードから読み取り、授業で活用できるようになっている。
	5 印刷・製本等	○テクスチャが感じられ、見て美しく触って楽しい表紙になっている。 ○紙は適度な厚みがあり、ざらつきが押さえられることで、発色が良くなっている。

教科ごとの選定の観点	1. 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることが出来る内容になっている。 2. 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる内容になっている。 3. 造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるような内容になっている。 4. 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培うことができる内容になっている。 5. 「思考力、判断力、表現力等」を高めるために、言語活動の充実を図ることが出来る内容になっている。 6. 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現のために、造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実を図ることができる内容になっている。 7. 「A表現」の活動においては、発想や構想に関する資質・能力を育成する全ての事項に「主題を生み出すこと」が位置付けられた内容になっている。 8. 「B鑑賞」の指導については、各学年とも、各事項において育成を目指す資質・能力の定着が図られるよう、適切かつ十分な授業時数を確保することができる内容になっている。 9. 【共通事項】の指導にあたっては、表現や鑑賞の学習に必要となる資質・能力を育成する観点から、生徒が多様な視点から造形を豊かに捉え実感を伴いながら理解することが出来る内容になっている。 10. 事故防止のため、特に刃物類、塗料、器具などの使い方の指導と保管、活動場所における安全指導など徹底を図ることが出来る内容になっている。
-------------------	--

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
美術	3 8	光村	美術 1 美術 2・3

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○発達段階に応じて学習に取り組めるとともに、道徳や他教科との関連も題材ごとに示され、生活や社会との関連も学べるようになっている。 ○2・3年が1冊にまとめられ、題材選択できるように配慮されている。
	2 内容に関する配慮事項	○「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「鑑賞」の分野で構成され、各題材で表現と鑑賞を関連させて学習できるようになっている。 ○美術で育てる力を「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つに分け、学習の目標として示されている。 ○各題材の始めに、表現につながる鑑賞作品を掲載し、対話活動を深められるように問いを示している。 ○【共通事項】を意識できるよう「POINT」という吹き出しに問いかけを掲載し、鑑賞の視点を分かりやすく伝えている。 ○発想や構想の手立て、制作過程が掲載され、生徒が主体的に学習できるようになっている。
	3 分量	○3年間の発達段階に応じて1と2・3に分け、題材数や領域のバランスが工夫されている。 ○状況に応じて選択が出来るよう、題材が設定されている。
	4 使用上の便宜	○図版を極力大きく見せる工夫がされている。 ○教師と生徒のキャラクターが対話をしているようなレイアウトになっており、対話活動を広げるヒントになっている。 ○美術1資料が別冊になっており、3年間活用できるようになっている。資料では、技法・色彩・形・発想の手立てについて系統的に整理して掲載され、各題材の学びを支える資料となっている。 ○QRコードから学習の参考となる映像資料などにアクセスでき、見るだけでなく生徒自ら主体的に学習出来るような工夫がされている。 ○生徒作品の掲載だけでなく、制作過程やQRコードから作者である生徒の思いを見ることが出来る工夫がされている。
	5 印刷・製本等	○製本は堅牢で、表紙はビニール加工されている。 ○別冊資料は開きやすいような綴じ方にして、各学年の教科書より一回り小さくすることで中にはさむことができるようになっている。 ○日本絵画に和紙風の紙を使用しており、他のページとサイズを変えているので、興味を持って見る事が出来る。

教科ごとの選定の観点	1. 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることが出来る内容になっている。 2. 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる内容になっている。 3. 造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるような内容になっている。 4. 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培うことができる内容になっている。 5. 「思考力、判断力、表現力等」を高めるために、言語活動の充実を図ることが出来る内容になっている。 6. 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現のために、造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実を図ることができる内容になっている。 7. 「A表現」の活動においては、発想や構想に関する資質・能力を育成する全ての事項に「主題を生み出すこと」が位置付けられた内容になっている。 8. 「B鑑賞」の指導については、各学年とも、各事項において育成を目指す資質・能力の定着が図られるよう、適切かつ十分な授業時数を確保することができる内容になっている。 9. 【共通事項】の指導にあたっては、表現や鑑賞の学習に必要となる資質・能力を育成する観点から、生徒が多様な視点から造形を豊かに捉え実感を伴いながら理解することが出来る内容になっている。 10. 事故防止のため、特に刃物類、塗料、器具などの使い方の指導と保管、活動場所における安全指導など徹底を図ることが出来る内容になっている。
-------------------	--

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
美術	1 1 6	日文	美術 1 美術との出会い 美術 2・3 上 学びの実感と深まり 美術 2・3 下 学びの探求と未来

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○発達の段階に応じて学びを深めるとともに、道德との関連も数多く示され、他教科や生活や社会と美術の関連も学べるようになっている。 ○3年間の発達段階に合わせ、3冊に分けられて題材設定されている。
	2 内容に関する配慮事項	○「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「鑑賞」の分野で構成され、全ての題材で表現と鑑賞を一体的に学習できるようになっている。 ○美術で育てる力を「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱に基づく「学びの目標」で示され、評価と一体化されている。 ○全題材で【共通事項】への気付きを促す「造形的な視点」が示され、生徒が主体的に学びを進められるように工夫されている。 ○全題材の主文とセットで題材導入動画をQRコードで示し、生徒の活動への興味・関心を喚起できるようになっている。また、動画で技法を確認したり、多くの生徒作品を見たりすることもできる。 ○表現と鑑賞の一体化を意識した学習の流れになっている。
	3 分量	○各題材が系統的に掲載され、3冊に分かれているので、各学年の学習に合わせて適切な量になっている。弾力的な指導計画を可能にする短時間の題材も紹介されている。
	4 使用上の便宜	○A4ワイド版で、原寸大の作品資料や大きな図版、細部まで分かる画像等が、作品の良さや美しさが伝わるように掲載されている。 ○生徒や作家の作品だけでなく、制作風景や作者の言葉や発想・構想の資料も掲載され、学ぶ意欲が喚起されるようになっている。 ○巻末の「学習を支える資料」では、技法・色彩・発想の手立て・美術史について系統的に整理して掲載され、各題材の学びを支えている。 ○全題材にQRコードが載っており、題材の導入に見せる動画が掲載されている。 ○全題材名の下に、造形的な見方・考え方に気付かせるための問いかけがある。
	5 印刷・製本等	○製本が堅牢で、表紙には耐水コートも施されている。 ○作品の材質感や色彩の鮮やかさなどが再現され各図版が美しく、紙質も良い。

教科ごとの選定の観点	1. 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることが出来る内容になっている。 2. 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる内容になっている。 3. 造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるような内容になっている。 4. 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培うことができる内容になっている。 5. 「思考力、判断力、表現力等」を高めるために、言語活動の充実を図ることが出来る内容になっている。 6. 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現のために、造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実を図ることができる内容になっている。 7. 「A表現」の活動においては、発想や構想に関する資質・能力を育成する全ての事項に「主題を生み出すこと」が位置付けられた内容になっている。 8. 「B鑑賞」の指導については、各学年とも、各事項において育成を目指す資質・能力の定着が図られるよう、適切かつ十分な授業時数を確保することができる内容になっている。 9. 【共通事項】の指導にあたっては、表現や鑑賞の学習に必要となる資質・能力を育成する観点から、生徒が多様な視点から造形を豊かに捉え実感を伴いながら理解することが出来る内容になっている。 10. 事故防止のため、特に刃物類、塗料、器具などの使い方の指導と保管、活動場所における安全指導など徹底を図ることが出来る内容になっている。
-------------------	--

令和7年度使用中学校教科用図書
調査研究結果報告書

保健体育



京築教育事務所管内教科用図書調査研究協議会

中 学 校 教 科 書 一 覧

教科書種目	保 健 体 育
-------	---------

発行者名	番号	略称	教科書名(シリーズ)
東京書籍(株)	2	東 書	新編 新しい保健体育
大日本図書(株)	4	大日本	中学校保健体育
(株)大修館書店	50	大修館	最新 中学校保健体育
(株)Gakken	224	学 研	新・中学保健体育

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
保健体育	2	東書	新編 新しい保健体育

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	学習指導要領に示されている内容について、教科の目標が十分に達成できるように取り上げられている。
	2 内容に関する配慮事項	生徒が興味・関心を引くような絵や写真等を活用し、自主的・自発的に学習できるように工夫されている。また、学びが広がるように QR コンテンツがあり、動画やシミュレーションなどにより学習内容を深められるようになっている。
	3 分量	分量として適切である。
	4 使用上の便宜	発問に関連する資料を示すなど、生徒の学習の深まりに有効に働くように配慮させている。
	5 印刷・製本等	文字の大きさや行間など、生徒が読みやすく整えられている。キーワードなど、重要な文字は、ゴシック体にするなど、配慮がなされている。
教科ごとの選定の観点		(体育分野) (1) 学習の流れを「見つける」「学習課題」「課題解決」「広げる」のパターン化されており、生徒の日常生活と関連づけた内容になっている。「課題解決」段階では、発問と本文や資料が関連付けられており、生徒が確実に学習内容を身に付けられる内容となっている。 (2) 1 年生では、スポーツに関わる人々として「する、見る、支える、知ること」でスポーツライフ実現に向けた多様な楽しみ方が示されている。2 年生では、スポーツの学び方の合理的な例を挙げ、個々の計画が立てられるようになっている。3 年生では、3 年間の学習を振り返り、自分に何ができるか考えられるようになっている。 (保健分野) (1) 「健康な生活と疾病の予防」では、体育分野や教科等との関連がわかりやすく工夫されている。 (2) ストレスへの対処として、巻末スキルブックに示しており、かつ、動画コンテンツで分かりやすく紹介している。 (3) 生活習慣病の予防では、自他の健康に関心がもてるように、考えを整理し、交流する活動を取り入れることができるようになっている。 (4) 全章に小学校の振り返りができる QR コンテンツがある。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
保健体育	4	大日本	中学校保健体育

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	学習指導要領に示されている内容について、教科の目標が十分に達成できるように取り上げられている。
	2 内容に関する配慮事項	学習のねらいが明確に示されている。「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」など、生徒が考えを深める活動や対話的な活動につながるように工夫されている。
	3 分量	分量として適切である。
	4 使用上の便宜	全単元において、全文エリアと資料エリアの見開きとなっており、全文エリアには、資料エリアの番号があり、関連性が示されている。
	5 印刷・製本等	全体的に印刷は鮮明であり、文字も読みやすい。キーワードなど、重要な文字は、ゴシック体にするなど、配慮がなされている。
教科ごとの選定の観点		(体育分野) (1) 体力の向上に向けた学び方や安全な行い方などの例を示す資料があり、学習したことが実践しやすい構成になっている。 (2) 章の最後に、学習のまとめとして、〈重要な言葉〉を説明するページがあり、生徒がこの章で学習する大切な言葉が、理解しやすく説明されている。 (保健分野) (1) 応急手当の技能の学習では、心肺蘇生法の手順の全体の流れが一覧で示され、わかりやすく見られるように工夫されている。 ストレスの対処では、心と体の関わりについて深く学ぶページが設けられており、心と体の調和を保つために心掛ける内容が示されている。 (2) リンクとして、体育分野と保健分野の関連を図ることはもとより他教科との関連も示されている。 (3) 各章末には、「学びを活かそう」があり、その章で学習したことをより深く理解するため課題を示し、自他の健康に関する課題を発見し、よりよい解決に向けて取り組むことができる内容になっている。 (4) 章扉では、小学校での既習事項と高校での学習内容を示し、校種間の学習がスムーズにつながるように工夫されている。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
保健体育	5 0	大修館	最新 中学校保健体育

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	学習指導要領に示されている内容について、教科の目標が十分に達成できるように取り上げられている。
	2 内容に関する配慮事項	「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」の3ステップ学習がパターン化されており、学習の見通しが立てやすいので、自主的・自発的な学習が促せるように配慮されている。
	3 分量	分量として適切である。
	4 使用上の便宜	本文と資料の関連がわかりやすく示されている。挿絵の内容がきちんと読み取れるように色を工夫するなど、学習が深まるように配慮されている。
	5 印刷・製本等	印刷は鮮明であり、文字も読み取りやすい。キーワードなど、重要な文字は、ゴシック体にするなど、配慮がなされている。
教科ごとの選定の観点		(体育分野) (1) 章のとびらでは、学習の始めにその章で学ぶことの見通しを持たせるため、学習内容を写真や資料から読み取りやすいように工夫されており、生徒が興味・関心を持ちやすい。 (2) 学習した内容を深められる工夫として、特集資料として、関連スポーツの紹介や体力向上のための計画の例が示されている。 (保健分野) (1) 「学習のまとめ」では、QR コードを読み込むと、自分の考えや学んだことを書き込むことができる Web ワークシートにアクセスができるようになっている。授業支援アプリで生徒用端末と電子黒板を連携させれば、それぞれの考えをクラス内で共有できるようになっている。 (2) 学習の振り返りとして、QR コードを読み込むと「保体クイズ」があり、確認問題を行うことができるようになっている。 (3) 章のまとめとして、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点を評価する問題が設定されている。 (4) 体育分野と保健分野の関連を図るために、「関連」としてページを設けており、教科等の関連では、「他教科」と示しており、日常的に体育・健康に関する活動等が継続的に実践できるようになっている。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
保健体育	2 2 4	学研	新・中学保健体育

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	学習指導要領に示されている内容について、教科の目標が十分に達成できるように取り上げられている。
	2 内容に関する配慮事項	課題発見の場面では、短時間で学習課題に気づくように工夫がされている。課題解決に向けては、問題解決的な学習が重視されており、生徒が自主的・自発的な学習が進められるようになっている。
	3 分量	分量として適切である。
	4 使用上の便宜	本文と挿絵や説明文などが、わかりやすい配置になっており、学習の深まりに有効に働くように工夫されている。
	5 印刷・製本等	印刷が鮮明で見やすい。大事なところはキーワードとして示し、字体もユニバーサルデザインフォントが使用されており、読みやすい。
教科ごとの選定の観点		(体育分野) (1) 1時間の主な流れを「ウォームアップ」「エクササイズ」「学びを生かす」とし、挿絵や説明文が分かりやすく整理されており、課題解決に向けて、知識が確実に定着できるようになっている。 (2) 学習した内容を深められるように「探求しようよ!」のページがあり、文化としてのスポーツなど挿絵や写真を示し、わかりやすく工夫されている。 (保健分野) (1) シミュレーション教材として標準体重やストレスチェックなど個人生活における健康に関する課題を解決する視点が重視されている。 (2) 応急手当の技能を習得しやすい工夫として、止血法や心肺蘇生法など動画があることや外部リンクにより情報収集できるなど、デジタルコンテンツが活用できるようになっている。 (3) 章のまとめに、学んだことのキーワードや自己評価、確かめ問題など、生徒が学習を振り返るように工夫されている。 (4) 「がん教育」「防災教育」「感染症」「SNS」など、生徒の身の回りのさまざまな課題がわかりやすく整理されており、実生活につなげて学べるように工夫されている。

令和7年度使用中学校教科用図書
調査研究結果報告書

技術・家庭



京築教育事務所管内教科用図書調査研究協議会

中 学 校 教 科 書 一 覧

教科書種目	技術・家庭（技術分野）
-------	-------------

発行者名	番号	略称	教科書名(シリーズ)
東京書籍(株)	2	東 書	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology
教育図書(株)	6	教 図	新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する 新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する スキルアシスト
開隆堂出版(株)	9	開隆堂	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて

教科書種目	技術・家庭（家庭分野）
-------	-------------

発行者名	番号	略称	教科書名(シリーズ)
東京書籍(株)	2	東 書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
教育図書(株)	6	教 図	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する
開隆堂出版(株)	9	開隆堂	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
技術・家庭 (技術分野)	2	東書	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	・基礎的・基本的な学習内容は押さえられている。各編が「生活や社会を支える技術」「技術による問題解決」「社会の発展と技術」で構成され、3学年間の見通しを持って教科の目標が達成できるように配慮されている。 ・生徒の発達段階に合わせて、身の回りの問題解決から社会の問題解決まで幅広く収載されている。
	2 内容に関する配慮事項	・各編は「編の導入」、「基本ページ」、「学習のまとめ」の構成で統一し、問題解決例や資料はその構成の中で適切に取り上げている。 ・学習が系統的に進められるよう、基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んで丁寧に記述されている。また、生徒のワークシート例等を充実させて、目的に応じて書く力を高めるようにしている。 ・「安全」マーク、「衛生」マークを付けて、生徒への注意を喚起している。 ・各編末には「学習のまとめ」で、学習したことを確かめよう（知識・技能）、考えを深めよう（思考・判断・表現）、生活に生かそう（主体的に学習に取り組む態度）の評価の3観点に沿った設問を掲載し、身についた資質・能力を確認することができる。
	3 分量	・「材料と加工の技術」「生物育成の技術」「エネルギー変換の技術」「情報の技術」の4編が適切に分配され、全体の分量は適切である。 ・各内容の分量は、時数、学期、学年配分などから見て偏りがなく適切である。
	4 使用上の便宜	・本文・イラスト・写真・図表等の配分は適切で、かつ関連を持たせた構成にしている。 ・情報モラルについて便利な点や注意点を考えられる構成にしており、図版を多数掲載し、生徒が理解しやすい表現になっている。 ・各節の紙面は基本要素を学習の流れ（目標、レッツスタート、学習課題、本文・図版、活動、まとめ）に合うように配置し、全ページで統一されている。 ・キャラクター「ミカッタ」のせりふは、技術の見方・考え方を示唆する内容になっており、生徒が技術の見方・考え方を働かせて思考し、深い学びが実現できるように工夫されている。 ・問題解決に必要な基礎的な技能を「TECH Lab」にまとめ、問題解決に活用できやすく配置している。 ・効果的に学習を進めるためのQRコンテンツを用意し、該当箇所にDマークを付している。
	5 印刷・製本等	・大判の紙面を有効に使い、ダイナミックな写真を用いたり、折り込みページを用いたりして効果的に学習を進めることができるように工夫されている。 ・UD書体が使用され、可読性を高めている。環境への配慮として再生紙や植物油インキを使用するとともに、製本には針金を使用しないことでリサイクルにも優れている。

教科ごとの選定の観点	・多様な「問題解決例」を数多く取り上げ、統一された問題解決の流れを示しており、また座学と実習のバランスを考慮しながら学校の実態や生徒の個性に応じた実践的・体験的な活動が行えるように工夫されている。 ・巻頭折込の「技術のめがね」と「最適化の窓」は3年間を通して繰り返し活用することで、持続可能な社会の実現のための技術の活用について考えることができる。 ・「技術の匠」では、製品の開発者や技術者など、技術分野の学習に関係の深い仕事に就いている人たちからのメッセージを紹介し、生徒の勤労観・職業観を育むことができるよう工夫されている。 ・技術分野のガイダンスを巻頭に位置づけ、中学校で学習することや技術における問題解決の流れを概観できるようにしている。また、巻頭に「作業を安全に楽しく進めよう」を設け、安全な環境、安全な行動、安全な作業における注意事項を記述し、安全への意識を高めてから各実習に取り組むことができるようにしている。 ・巻末には、「学んだことを社会に生かす」を設け、技術分野の学習を広げ、将来に生かしてほしいというメッセージを掲載している。 ・段階的に技術の見方・考え方に気づかせるため、技術の最適化について扱う内容には「技術の天びん」マークが付されている。 ・基本プログラムを押さえるプログラミング体験のページを設定し、身近な例を用いた基本の理解から自分なりの問題解決へと展開しやすくなったプログラミング学習となっている。 ・巻末に様々なプログラミング言語を体験できる「プログラミング手帳」やコンピュータの基本操作についてまとめた資料を用意している。 ・技術ガバナンス（技術を評価し、選択・管理・運用する力）、技術イノベーション（技術を改良、応用する力）は、各巻末に「未来の Technology」として、ワークシート例を掲載し、生徒に身につけたい力を育てることができるように配慮されている。
-------------------	---

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
技術・家庭 (技術分野)	6	教図	新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	・学習指導要領の目標に対応した系統的な配列になっており、技術分野の見方・考え方を働かせて問題解決能力が身に付く構成になっている。各編とも、1章を「技術を見つめよう」、次章を「技術をいかそう」、最終章を「未来をつくろう」で構成されている。 ・幅広い実習題材をそろえ、時間数や技能に応じて選択でき、生徒の習熟度や進度差に対応できるように配慮されている。
	2 内容に関する配慮事項	・小学校との学習の関連を表すマークを示して、教科間の学習の連携が取れるように配慮されている。 ・各編に「やってみよう」として、自ら学ぶ、グループで学ぶ問いかけが設けられ、技術について調べさせたり、考えさせたりする活動を通して、主体的で対話的な学びができるように配慮されている。 ・各編の最終章にある「社会の発展と技術」では、社会における技術のプラス面とマイナス面の資料を掲載して、自ら考え判断できる内容にしている。 ・実習に応じて安全のポイントを設け、生物育成では「衛生」のマークを配している。
	3 分量	・全体は、A B C Dの4つの編から構成され、偏りがなく、適切な分量である。各内容の分量は、時数、学期、学年配分などに配慮し、偏りなく扱えるように構成している。
	4 使用上の便宜	・学習内容の精選と重点化が図られ、本文の理解を助けるために必要な写真・イラスト・図表などが適切な箇所に配分して構成されている。 ・写真や図などの資料が大きくて見やすくなっている。表紙のイラストや4コマ漫画など、生徒がわくわくする教科書になるよう配慮している。 ・発展的な学習の内容はなく、基礎的・基本的な学習内容で構成されている。 ・「もっと知ろう」「先輩に聞いてみよう」「スゴ技」「技ビト」のコラムにより、生徒が興味・関心を持てるように配慮されている。 ・本文は簡潔にわかりやすく実習題材や作業手順を丁寧に掲載している。 ・巻末に「設計・計画シート」「計画・育成シート」がとじ込められ、準備、評価の時間を短縮できるように配慮されている。
	5 印刷・製本等	・学習内容の重要語句は、視認性を上げるために青太文字になっている。また、UD書体で文字が大きく、紙面の構成が統一されている。 ・紙は軽くて、裏移りのないものが採用されており、再生紙、植物油インキを使用し環境に配慮している。表紙は防水加工されており、生徒が持ち運びやすいように配慮され、書き込みにも適しており、長期の使用にも十分耐えうる。 ・印刷は明るく目に優しい色遣いで読みやすいように配慮されている。また、写真が細部まで鮮明に印刷されている。

教科ごとの選定の観点	・実践的・体験的な学習活動において、別冊「スキルアシスト」を活用することで、実践に役立つ知識・技能の習得ができるようにしている。また、作業手順や工具の安全な使用を示し、事故防止への配慮がされている。 ・コラムの「技ビト」・「スゴ技」、E編「夢をかなえる技術」で、学んだ技術が社会にどういかされているかをとり上げて、資質・能力を働かせてよりよい社会を創るという目標を持てるように配慮されている。 ・生徒が主体的に問題解決に取り組めるように幅広い題材例が紹介され、漫画を用いた問題解決の流れを学べるページを設けている。 ・「先輩からのメッセージ」のページを設けて、高等学校で専門的な学習に取り組む先輩を紹介し、生徒に進路について考えさせることができるように配慮されている。 ・持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標のマークを関連する学習内容に付けて、日本や世界で起こる諸問題を、自らにかかわる課題としてとらえられるようにしている。 ・「見つける・学ぶ・ふり返る」を基本配列として、「見つける」で学習意欲を喚起、「学ぶ」で自主的に学習、「ふり返る」で学習理解の確認ができるようにチェック欄が設けられるなど工夫されている。また各編の各章の最後に、各章の学習をふり返り、学んだことをまとめる内容が掲載されている。 ・学習の冒頭の「めあて」と、ページ末の「ふり返る」が対応しており、評価を見取りやすくなっている。また各編末では、評価の3観点に対応した「やってみよう」や「まとめの問題」で学習を振り返ることができる。 ・QRコンテンツが充実しており、端末を使った授業に活用できる。 ・内容D「情報の技術」について、情報の流れを表す図やプログラム全体の動作をまとめたアクティビティ図の書き方を丁寧に取り上げている。 ・プログラミング言語はブロック型の言語と日本語言語の両方を示し、プログラミングの学習が進めやすいように配慮されている。また、プログラミングの実習題材では、制作手順の細分化により、生徒が作業の手順を追いながらプログラミングの理論が理解でき、無理なく学習が進められるように配慮されている。 ・小中高の連携が図れるようにビジュアル型と日本語入力型のプログラミング言語を扱った実習題材を紹介している。
------------	--

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
技術・家庭 (技術分野)	9	開隆堂	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	・各内容の範囲は、学習指導要領に適合しており、生徒の生活経験や発達段階及び授業時数などを十分考慮して範囲や程度が定められており、弾力的に対応できるように工夫されている。 ・各内容の系統性は、基礎・基本の習得から応用・発展的な学習へと系統的に展開されており、適切である。
	2 内容に関する配慮事項	・各内容とも「導入」「基礎学習」「展開」「まとめ・評価」の順で系統的・発展的に組織されている。 ・小学校や他教科とのつながりを各内容のとびらページにて示している。 ・実習例における設計や計画などは、項目ごとにまとめながら文章によって表現できるようになっている。 ・安全への配慮として、随所にマークを使って取り上げている。
	3 分量	・内容は全体として分系統的・発展的に組織されており、分量や配分は、授業時数や多様な指導計画などに適応できるように考慮してまとめている。 ・本文は、特定の事項・事象・分野などに偏ることなく、全体として調和がとれている。
	4 使用上の便宜	・各内容は、本文・図・イラスト・写真など、いずれも正確で分かりやすく丁寧に記述されている。 ・写真や図版はわかりやすく、必要な箇所では生徒が自分で作業をしているように見えるアングルで撮影した写真が使用されているなど、理解を促すための工夫がなされている。 ・生徒の意欲や興味・関心に応えられるように、「発展」マークを付け、本文と関連付けて無理なく配置されている。 ・巻頭のガイダンスで、4コマ漫画を読んで学習の流れのイメージをつかませるように工夫している。 ・各内容の適切な箇所に QR マークを記載することによって個別最適な学びが実現できるように配慮されている。 ・安全への配慮や環境、防災、伝統文化との関連、他ページや他教科とのリンクなど、学習に大切な要素を見やすいマークで表している。 ・本文では読み疲れにくい明朝系、図や参考では視認性の良いゴシック系などを使い分けている。また、単語が途中で改行されないようになっており、単語として認識しやすくなっている。
	5 印刷・製本等	・全項カラーで美しく印刷されている。可読性の高い UD フォントを使用して読みやすく、内容に応じて適切な大きさが使われている。 ・環境に配慮した植物油インキが使われている。 ・軽量化された用紙が使われ、薄くて丈夫で生徒の負担にも配慮されている。 ・製本は強固に接着されており、堅牢で長期の使用に問題ない。

教科ごとの選定の観点	・生徒の目が地域に向くように、地域の技術について取り上げた写真や話題などを豊富に使用している。 ・各編の最後にインタビュー欄が掲載され、技術に関する職業の理解を通して職業観・勤労観を育み、勤労を重んずる態度を養えるようにしている。 ・ガイダンスのページでは、技術の見方・考え方を取り上げ、各内容でそれを深めるようになっている。 ・各内容で、既存の技術を、技術の見方・考え方で読み解く活動がワークシート形式でできるようになっている。 ・各内容の出口では、これからの技術について考えさせられるような話題が取り上げられており、将来的にも技術に関心や課題意識を持てるように工夫されている。 ・環境や共生に関する内容は、ガイダンスをはじめ、個々の学習場面や各内容の最後で取り扱い、学習活動や生活の中で環境や共生を大切にする実践的態度が身に付くように配慮がされている。 ・社会から学び、学んだことが社会につながる学習を、トレードオフを考慮し技術の最適化に挑むことで身につけることができるように工夫されている。 ・豆知識には学習内容に関連する興味深い話題が掲載され、ツメ見出しでは、内容に関係した工具や部品などの名前が紹介されている。CHECK では、学習課題と対応して、学習したことをふり返っておさえることで、指導と評価の一体化を目指している。 ・プログラミング実習例はブロック型言語を中心に問題解決を行いやすいように配慮している。 ・情報の内容では、外来語や略語について本質的に理解できるよう英語の綴りが併記されている。
-------------------	---

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
技術・家庭 (家庭分野)	2	東書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	・学習指導要領に示された「教科・分野の目標及び内容」、「指導計画の作成と内容の取り扱い」に準拠し、必要かつ十分な内容が適切に扱われている。 ・それぞれの編の各章・節の内容は、学習指導要領の内容を踏まえて、学習が系統的に進められるように基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んで丁寧に記述されている。 ・各編末には「持続可能な社会」について考える章を新設し、各学習内容と持続可能な社会の構築を関連させて考えられるようにしている。
	2 内容に関する配慮事項	・各編は「編の導入」、「基本ページ」、「学習のまとめ」の構成で統一され、実習例や資料はその構成の中で適切に取り上げている。 ・教科書の配列が「自立から共生」のストーリーになるように工夫されている。 ・各編末には「学習のまとめ」が見開きで設けられ、評価の三観点に基づいて復習できるように工夫されている。また、編ごとに学習をふり返って生活に生かしたいことを記述する欄を設け、学んだことが生活に生かされるように配慮されている。
	3 分量	・各内容の分量は、時数、学期、学年配分等から見て偏りがなく適切である。 ・教科書の構成を1節1時間の全59節で統一し、座学59時間に実践的・体験的な学習を選択的に取り入れることで3年間の87.5時間が網羅できるように工夫されている。
	4 使用上の便宜	・実習例にはさまざまな難易度の題材を取り揃え、生徒や学校の実態に応じて選択できるように配慮されている。写真やイラストなどの資料を効果的かつ豊富に用いているほか、QRコンテンツも充実しており、学習への興味・関心を高めるよう工夫されている。 ・キャラクターのセリフはすべて文節改行となっており、読みやすさに配慮されている。 ・各編の扉ページに小学校家庭科で学習した内容のキーワードを設け、小学校での学習をふり返ってから中学校の学習を進めることができる。また、Dマークの付いた小学校リンクマークで小学校家庭科教科書紙面を確認できる。 ・男女共同参画社会やダイバーシティ（多様性）など共生の視点を重視し、随所にイラストを掲載している。また、右利きと左利きに対応しているほか、生徒の手や体の巧緻性の個人差に配慮し、写真やイラストを用いて解説している。
	5 印刷・製本等	・本文用紙は軽量の紙が使用され、再生紙や植物油インキを使用するとともに裏抜けを抑え、食品の鮮やかさや人物の肌の温かみが豊かに表現されている。 ・大判の紙面を有効に使い、ダイナミックな写真を用いたり、折り込みページを用いたりして効果的に学習を進めることができるように工夫されている。 ・長期の使用に耐えるよう、堅牢に製本されている。

教科ごとの選定の観点	・QRコンテンツでレシピを確認することができ、家庭での実践につなげることができる。 ・「ミカッタ」のキャラクターが見方・考え方を働かせることのできる場面で登場し、関連するセリフで生徒の意識を高めさせることができる。 ・巻頭には、実習時の安全に関する資料を掲載し、一般的な注意事項を実習の流れに沿って分かりやすくまとめている。 ・脚注に豆知識である「せいかつメモ」を設け、興味・関心に応じて扱うことができるように工夫されている。 ・他教科との関連が随所に示されているほか、他教科リンクマークでは紙面を実際に見ることができ、教科横断的なカリキュラム・マネジメントの一助となる教科書となっている。 ・全体を通して記入例やワークシート例、話し合いの場面などが充実しており、主体的・対話的で深い学びが実現できるように工夫されている。QRコンテンツが充実し、全ての生徒が学びやすいように配慮されている。 A 家族・家庭生活 ・ガイダンスとの関連を図り、家族や幼児、高齢者の内容が円滑に進められるようにストーリー性を持たせている。 ・幼児や高齢者に関する内容は教科書の後半に位置づけるなど、実態に合った構成になっている。また、高等学校の学習へつなげることもできるように配慮されている。 ・絵本や漫画、ロールプレイングを取り入れるなど、客観的に家族について考えられるように配慮されている。 B 衣食住の生活 ・食品の実物大写真、6つの食品群をはじめ、多くの食品を写真で紹介している。調理実習は豊富な題材例数を鮮明な写真で紹介し、生徒の関心・意欲を高めるように工夫されている。 ・資源や環境に配慮した製作の例として、余り布を用いた小物や衣服のリフォーム・リメイクが取り上げられている。 ・家庭内事故や自然災害への対策に関する内容が充実し、資料から多彩な安全教育が実践できるように配慮されている。 ・衣食住とも日本の文化を大切にする心を育むような内容・写真が掲載されている。 C 消費生活・環境 ・生活者としての自立するために大切な「意思決定のプロセス」を明確に示している。 ・省エネルギーや3R、エシカル消費などの内容は、衣食住の学習内容との関連を図り、相互に学習が深められるように工夫されている。 選択必修 生活の課題と実践 ・巻末にまとめ、各学校の実態に応じて、また内容を複合的に選択して履修できるように配慮されている。
------------	--

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
技術・家庭 (家庭分野)	6	教図	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	・学習指導要領に沿った構成になっており、知識・技能を身につける導入と本文ページ、思考力・判断力・表現力を養うページをくり返すことで問題解決的な学習を通して資質・能力が身に付くように配慮されている。 ・教科書全体を通して、持続可能な社会の構築について、生徒の興味・関心をひきつけ、自分にできることを考えることができるよう配慮されている。
	2 内容に関する配慮事項	・「つなぐ、つながる」をテーマとして、家族、家庭、地域へと学びがつながっており、これからの社会に出ていく生徒が人や文化、地域や社会とつながっていく未来をイメージしやすくなっている。 ・実習題材は、基本の作り方をもとに工夫の例が示され、基礎技能の練習ができる題材選びから問題解決的な題材へと系統的に配列し、生徒の学習段階に合わせて取り組めるように配慮されている。 ・本文掲載ページの「ふり返る」には、生徒が評価を書き込める欄があり、学習のまとめりごとに自己評価できるように配慮されている。
	3 分量	・本文の分量や並びは適切で、本文に沿って必要な図表や写真等が適切に配分、構成されている。また、学びを助ける効果的なイラストも活用され、理解しやすい。 ・読みやすい教科書となっており、文字や行間などのサイズも適切である。
	4 使用上の便宜	・各学習の導入「みつめる」では、写真や一コマの漫画場面を通じて、生徒が身近な生活から見方・考え方の視点を通して気づきを得られるように工夫されている。「みつめる」を受けた「見つめてみよう」では、気づきをより深めるための問いが示されている。 ・実習ページの写真は完成のイメージがしやすく、実習中に参照することに適している。 ・ほぼ原寸大の食品写真や生き生きとした表情の写真、イメージしやすいイラストなどを、生徒の目に留まるように掲載している。 ・住生活において、災害や防災について分量を使って適切に扱われている。
	5 印刷・製本等	・本文と資料のバランスを考え、読みやすさにこだわった紙面で、机の上での開きやすさと強度を兼ね備えた本の造りとなっている。 ・丈夫な製本で表紙は防水加工され、汚れにくく丈夫さが長持ちするよう配慮されている。 ・印刷は明るく目にやさしい色遣いになっており、料理や布の製作などの実習ページの写真が細部まで鮮明に印刷されている。

教科ごとの選定の観点	・全体を通して、学習指導要領の内容が漏れなく生徒の興味関心に沿って構成されている。小学校からのつながりや、他教科への広がりなども意識されており、より深い学びが実現できるよう工夫されている。デジタルコンテンツも充実しており、さまざまな学習状況に対応した学びが実現しやすい構造になっている。 ・生徒が自分事として学びを捉え、生活をよりよくしていく意識をかき立てることのできる教科書となっている。 ・将来の職業や未来の生活の参考になるように、家庭分野にかかわる職業の先輩のインタビューが掲載されている。 ・「学びを生かそう」の記録レポートは、自分の生活課題の改善の流れに沿ってまとめて発表することができ、生徒の表現力につながる。 ・関連マーク（小学校や他教科）や安全・衛生マーク、環境マーク、防災マーク、消費者マーク等で生徒が意識を高めることができるように配慮されている。 A 家族・家庭生活 ・幼児とのふれ合いにおいては、イメージの伝わる写真や安全への配慮だけでなく、実際に実習ができないときの学び方まで示されている。 ・男女共同参画社会に関するコラムが掲載されている。 ・地域で活躍している中学生や高齢者、幼児の成長の様子が分かる写真などを多数掲載している。 B 衣食住の生活 ・布を使った製作では、基礎的な題材から防災を意識した題材まで幅広く扱われており、アレンジ方法なども示されているので、生活にいかしやすい。 ・調理実習では、生徒が興味を持ちそうな題材が扱われており、目安時間やアレルギー食材、安全や衛生への配慮などがされている。 ・調理や縫い方、住まいの空間や換気についての基礎技能について簡潔に示されている。 ・だしを使った料理や郷土料理などについて、わかりやすく掲載している。 ・食生活・衣生活と環境や防災とのつながりについて手厚く扱われている。 C 消費生活・環境 ・プラスチックゴミ問題等について気づきを促す写真や、インターネット販売やキャッシュレス決済など今日的な題材も掲載している。 選択必修 生活の課題と実践 ・巻末に生活の中の課題例を掲載している。
------------	--

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
技術・家庭 (家庭分野)	9	開隆堂	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	・基礎的・基本的な知識・技能を適切に習得できるように配列が工夫されている。地域や学校事情等によって順序の組み換えがしやすくなるように工夫されている。 ・各内容・項目とも、基礎的・基本的内容の習得から応用・発展的な学習へと系統的に展開されている。生徒の思考の流れに沿っていて、教科の特徴を無理なく具体化している。 ・3つの内容が空間軸と時間軸の視点で整理されており、空間軸の視点である自己と家族・家庭・地域と時間軸の視点であるこれまでの生活及び現在とこれからがわかりやすく記述されている。
	2 内容に関する配慮事項	・各内容の章末に「持続可能な〇〇生活」の節が設けられ、持続可能な社会を目指して考え行動できるように取り上げている。 ・学習のまとまりごとに見通しをもち、生活の中から課題を見つけられるよう本文の記述や課題が配置され、主体的に課題に取り組めるように工夫がされている。また、学習のまとまりごとに「学習のまとめ」があり、学習の自己評価ができるとともに身についた知識や技能などを生活にいかすことのできるしくみになっている。 ・項目の導入では、生徒の身近な話題を用いながら生徒がそれぞれの学習に興味・関心をもって取り組めるようになっている。
	3 分量	・課題を解決するための手がかりや本文内容の理解を助ける科学的な資料を、効果的な表現や分量・大きさで示している。 ・各内容、各項目に配当する授業数に応じて、分量を適切に配列している。
	4 使用上の便宜	・実践的・体験的活動を通して、話し合いの活動や思考する活動、意見を述べる活動などさまざまな言語活動ができるように設定されており、学んだ知識や技能を生活にいかす際に工夫する能力につながっている。 ・観察や実習の際の計画を立てる場面やレポート作成、発表等の場面を学習過程の各所に設定しており、主体的・対話的で深い学びができる仕組みになっている。 ・MLBで活躍する選手やLGBTQなど現代社会で取り上げられている事例を掲載し、関心を持って学習に取り組めるようになっている。 ・中学生キャラクターや学習案内キャラクターを活用して、学習に取り組みやすいように工夫している。 ・多種多様な職種で働いている人へのインタビューなどを取り上げ、進路のヒントやキャリア教育につながるように工夫している。
	5 印刷・製本等	・印刷は鮮明で、弱視の生徒に読み取りやすいカラー効果の配慮をしている。再生紙を使用し、植物性のインクを使用していて環境に配慮している。 ・製本は堅牢で、表紙は水に強い加工が施され、長期の使用に耐えるものとなっている。 ・本文と図表・写真の関係がわかりやすい配置になっている。

教科ごとの選定の観点	・生活の営みに係る見方・考え方に示された視点が全体を通して展開されている。 ・ガイダンスが冒頭のページに設けられていて、小学校の学習を振り返り、小学校や他教科との関連に気づき、3年間の学習の見通しを持てるようになっている。 ・調理や製作などの実習手順図は、生徒の視線の流れや特別支援教育を考慮して見開きのページを使って横に流れる記述で表記され、基礎・基本を習得するための適切な配慮がなされている。 ・「伝統文化マーク」が日本の伝統的な生活文化を取り上げた箇所につけられていて、わかりやすく示している。 A 家族・家庭生活 ・家族や幼児・高齢者など異なる世代の人たちと関わり、地域の中で共に生活する視点で項目が構成されている。 ・原寸大の幼児の手形・足跡やイラストなどによって、生徒の気づきや疑問を引き出し、他者への理解を深めるように工夫をしている。 ・とびらページや紙面の中で多様な家族例が紹介されたり、相手の立場になって考えるロールプレイングの活動であったり、場面例を設定しながら様々な視点から他者理解できる工夫がなされている。 ・随所に掲載されている「中学生の取り組み」やQRコードを使った「先輩からのエール（音声を聴く）」を通して、地域・社会の一員としてその後の生活につなげられるように、また中学生が自ら学びを広げていけるように配慮されている。 B 衣食住の生活 ・調理実習例は誰もが見やすいように手順を横流れに示し、「調理方法 Q&A」が設定され、科学根拠に基づいた知識・技能が図られるようになっている。 ・食物アレルギーに対する正確な理解が得られる記述が本文にあり、実習例の「材料と分量」を目立つように示していることや、食品の概量をイメージしやすいように、食品を実物大で示している。 ・製作の手順をQRコードの動画で確認することができる。 ・家庭内事故や災害に備えた住空間の整え方を学ぶとともに、わかりやすいイラストから対策を考える学習や「考えてみよう」で話し合いながら課題解決の学習につなげる配慮が見られる。 C 消費生活・環境 ・消費生活のしくみや収入と支出のバランスなど、具体的な課題や事例、イラストを使用して、視覚的にわかりやすく示している。 選択必修 生活の課題と実践 ・生徒が家庭や地域で実践できるように実践のすすめ方やまとめ方が掲載されているので計画を立てやすい。また、多種多様な課題例を豊富に紹介し、生徒が課題の設定と実践のイメージをもちやすく工夫されている。
------------	--

令和7年度使用中学校教科用図書
調査研究結果報告書

英 語



京築教育事務所管内教科用図書調査研究協議会

中 学 校 教 科 書 一 覧

教科書種目	英 語
-------	-----

発行者名	番号	略称	教科書名(シリーズ)
東京書籍(株)	2	東 書	NEW HORIZON English Course
開隆堂出版(株)	9	開隆堂	Sunshine English Course
(株)三省堂	15	三省堂	NEW CROWN English Series
教育出版(株)	17	教 出	ONE WORLD English Course
光村図書出版(株)	38	光 村	Here We Go ! ENGLISH COURSE
(株)新興出版社啓林館	61	啓林館	BLUE SKY English Course

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
英語	2	東書	NEW HORIZON English Course

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領に記載されている内容を不足なく取り扱っている。言語材料の知識と技能を基に、生徒が自分で思考し、判断したことを適切に表現することを深い学びととらえており、コミュニケーション能力を育成するために段階的な活動を用意している。
	2 内容に関する配慮事項	○ Activity(Unit 途中)⇒ Unit Activity(Unit 末)⇒ Stage Activity(学期末・年3回)という順で全体を通して Stage Activity に向けて活動を系統的に積み上げている。 ○ 各学年、内容項目ごとに Stage1、Stage2、Stage3 などといったように分けられており、Stage 終了ごとに Stage Activity を設定し、学習の振り返り、アウトプットを行う場面が設定されている。 ○ 各 Unit で学習した内容の定着を図るために、各 Unit の終末に活用できる Practice や Activity が用意されており、コミュニケーション活動を通して、アウトプットを行うことができる配慮がなされている。
	3 分量	○ 指導時数は、1年生約99時間、2年生約88時間、3年生は約98時間である。これは、週4時間全140時間の指導時数に対して適切である。
	4 使用上の便宜	○ 題材や場面にあったイラストや写真が随所に記載されている。 ○ 各 Unit にそのページで学習したまとまりのある英文の単語数が記載されている。 ○ 各ページ Practice の項目があり、生徒が反復学習に取り組むことができる内容が充実している。
	5 印刷・製本等	○ 特別支援教育の観点から、本文や New Words など紙面上の要素のデザインや配置を統一しており、安心して学習に取り組む配慮ができています。 ○ A4版の教科書であり、豊富なイラストや写真を用いて、生徒の学習意欲を高める教科書となっている。
教科ごとの選定の観点		1 1年生の教科書では、新出単語の中に、「小学校の単語」という記載があり、中学校の内容と小学校の内容を関連付けることで、スムーズに中学校の外国語学習につなぐ工夫がなされている。 2 各 Unit では、目的・場面・状況が明確に記載されており、実際の言語使用場面に近づけた内容になっている。また、各 Unit 下部にそのページで学習した文法事項を学習できるドリル内容が記載されており、生徒が反復的に学習することを促す内容になっている。 3 各 Unit の終盤に Unit Activity、各 Stage の振り返りとして Stage Activity が設定されており、生徒が自ら考え、言語活動ができるようになっている。 4 教科書の随所に New Words という英単語を学習する項目があり、必要と思われる語彙が補充されている。 5 英語圏の国だけではなく、それ以外の国にわたって満遍なく取り扱っている。また、我が国特有の文化にも触れ、国際人としてどのように生きていくべきか学ぶ機会を多く設けることができる。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
英語	9	開隆堂	Sunshine English Course

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領に基づき、4 技能 5 領域のバランスを考慮して、総合的な指導ができるように工夫されている。 ○ 基礎的な知識・技能の習得は、必ず言語活動を通して習得する工夫がされており、新出表現を導入した直後の活動は平易な内容にとどめ、大半の生徒が正答できる難易度に設定されている。
	2 内容に関する配慮事項	○ 本文読了後にその内容を再話する活動が段階的に設定され、内容を整理し自分のことばで話すことを通して思考力・判断力・表現力を育成できるように工夫されている。 ○ 各単元の導入におけるポイント基本文、重要表現をカラーと太字で明記している。 ○ 本文の内容理解のために適度な英問がわかりやすく、本文の下に提示されており、英問英答の活動ができ、英語で授業を行いやすくなっている。
	3 分量	○ 指導時数…1 年 88 時間 2 年…98 時間 3 年…95 時間 週 4 時間、全 140 時間の指導時数に対して余裕を持った配時である。 ○ 総新語数…1,664 語 (1 年…490 語 2 年…616 語 3 年…558 語) ○ 学習する文構造・文法事項…1 年 22 項目 2 年…24 項目 3 年…21 項目
	4 使用上の便宜	○ 帯学習で活用できる「Small Talk 表現集」が巻末資料として全学年に付いている。 ○ アルファベットの文字を書きやすい 5 : 9 : 5 の比率の 4 本線を使用。 ○ 紙面にある QR コードを通して、多様な学習が容易に可能で、学校や家庭における積極的な自学自習が期待できる。
	5 印刷・製本等	○ A4 判で豊富な写真、イラストを掲載、記述についてもゆとりのある紙面。 ○ 環境に配慮した用紙やインクを使用し、耐久性にも優れた製本。
教科ごとの選定の観点		1 年生の Get Ready で小学校英語をふり返る活動を設けている。この部分においても 4 技能 5 領域をバランスよく考慮した内容になっている。巻末の単語リストに小学校での既習語はわかりやすく印をつけ、効果的な指導ができるように工夫されている。 - 各単元のはじめに、目的・場面・状況が明確なマンガ形式の Scenes で新出表現を視覚的にわかりやすく提示し、言語活動としても取り組み易くなっている。また、話した内容を書くことで新出表現を正確に理解させ、表現させる活動が聞くことの活動と併せて設定されており、効果的な学習ができる。 - 実生活に即した具体的な目的や場面、状況を設定した言語活動を Power-Up というパートで行うことができるようになっている。また、Small Talk や Action においても相手意識・目的意識をもった「話すこと(やりとり)」の活動を通して、場面に応じた即興力の養成にも対応している。 4 技能 5 領域について多様な工夫がされており、いろいろなパターンで知識や技能を習得することができるような構成になっている。授業中の言語活動や自学自習の場面で使える単語や表現が Word Web というページにジャンル別に分類・整理されている。 SDGs や地震を通しての国際協力や防災に関する題材、マララ・ユスフザイさんの話など人権及び道德教育に関する題材など生徒の発達段階や興味関心に即して適切な題材を取り上げている。また、多様性を認め、自国や他国の文化に関心を持たせ、国際協調の精神を養う配慮がなされている。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
英語	1 5	三省堂	NEW CROWN English Series

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○ 外国の生活や文化と自国の伝統や文化をより深く理解する題材が豊富である。学習指導要領に示された目標と内容に沿って 4 技能 5 領域のさまざまなコミュニケーション活動を通して、ことばを使う力を育むことができる内容となっている。
	2 内容に関する配慮事項	○ 各レッスンの最後に、ゴールとなるコミュニケーション活動が設定されている。 ○ 各レッスンは Part と Goal Activity で構成され、言語材料と言語活動がバランスよく配置されている。 ○ 英語を使う必然性のある、日常生活の中で起こりうる場面や状況が設定されている。 ○ 学期(3 学期制)に 1 回ずつ設定された Project を通して、複数の技能を活用した活動に取り組み、総合的な力を身につけられる構成になっている。
	3 分量	○ 1 年 97 時間、2 年 95 時間、3 年 93 時間となっており、年間指導時間内で余裕をもって指導できる。
	4 使用上の便宜	○ 見開き構成で、教材の配列をパターン化されており、学習に集中できるつくりとなっている。 ○ Can-Do リストが巻末に配置されており、見通しをもって学んだり、言語活動の「ふり返し」を活用したりすることで、コミュニケーション活動を自己評価することができる。 ○ 音声から文字へ、練習活動からコミュニケーション活動へと、スムーズに言語習得がなされるように配列されてある。 ○ デジタルコンテンツが豊富にあり、生徒が学びを深めることができる。 ○ レッソンの最後に、コミュニケーション活動が設定されている。活動に取り組む前に、 Watch の動画を見て、構成を検討する様子を確認することができる。
	5 印刷・製本等	○ A4 版で、イラストや写真が大きく見やすい。ユニバーサルデザインに配慮したフォントが使用されている。
教科ごとの選定の観点		1 1 年冒頭に小学校で学んだ語句や表現が収録された My Dictionary が配置されており、小学校での学びをふり振り返りながら Starter の言語活動の中で活用することができる。1 年の前半で、小学校で学習した内容を復習したり、確認したりすることで、小学校と中学校の学びを円滑に連携することができる。 2 Write では、レッスンに関連したテーマを文の構成や型を意識しながら自分の考えを書くことができる。 3 アニメーションで言語を使う場面や状況が提示され、具体的なイメージを持ちながら言語活動に取り組むことができる。 4 New Words 以外にも Expressions や Word Bank などが言語活動の際に参照できるように配置され、巻末資料にも豊富な語彙が提示されている。 5 異なる文化的背景をもった登場人物たちの友情や成長に触れながら、イギリスや中国、インドやオーストラリアなどの外国の生活や文化と、自国の伝統や文化をより深く理解できる内容となっており、落語や風呂敷などの日本文化の良さを海外に発信できる内容となっている。「折り鶴にこめられた思い」では、平和について深く考えることができる。題材が幅広く、広く知識と教養を獲得しながら豊かな情操と道徳心を養うことができる。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
英語	1 7	教出	ONE WORLD English Course

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○ 実際のコミュニケーションに使える英語の力をつけるため、明確な目標を意識しながら、学習指導要領に示された目標と内容に沿って 4 技能 5 領域をバランスよく身に付ける配列となっており、生徒の学習意欲を高める多様な題材・活動を通して、生徒が主体的に学ぶことができる内容である。
	2 内容に関する配慮事項	○ 実際の使用場面に即した場面設定、興味を引く話題、他者と関わり合いながら進めていく活動が豊富にある。 ○ 巻頭に目標を書き込む欄があり、自主的、自発的な学習への支援となる。 ○ Lesson 冒頭に「単元の目標」を示し、学習の見通しを持って学習に取り組むことができる。 ○ 各ページにあるデジタルコンテンツを活用することで、音声を聞いたり、動画を見たりすることができ、個別最適な学びにつながるようになっている。
	3 分量	○ 指導時間は、1 年 109 時間、2 年 109 時間、3 年 106 時間となっており、年間指導時間内で余裕をもって指導できる。
	4 使用上の便宜	○ デジタルコンテンツは、ワークシートもダウンロードすることができ、協働学習や家庭学習にも適した内容となっている。 ○ Can-Do 自己チェックリストがついており、4 技能 5 領域それぞれの学習到達目標が提示されている。3 年間の学習の見通しをもって学ぶことができる。 ○ シンプルな紙面と単元構成で、4 技能 5 領域の力をバランスよく身に付けることができる内容である。
	5 印刷・製本等	○ シンプルな紙面構成と単元構成で、学習内容が分かりやすく配慮されている。識別しやすい配色を用い、カラーユニバーサルデザインが配慮されている。 ○ 手書きに近く、判読しやすいフォントが使われている。
教科ごとの選定の観点		1 1 年生では Lesson1～3 で小学校で学習した表現や文型を再び扱うことで、基本的な表現を確実に習得し、振り返りの場として整理されている。 2 ディベートやディスカッションがあり、単元の題材に関連した、話す（やり取り、発表）・書く活動を通して、英語で考え、表現する経験を積み重ねていくことができる。 3 生徒自身の興味・関心や経験等を発信できるように言語活動が適切に配列されている。日常生活から社会的なテーマまで、多様な題材をもとに考える機会がある。 Think&Try! 活動例を参考にすることで、表現するためのイメージをもつことができる。 4 言語材料は、バランスよく、段階的に配置されている。語、連語および慣用表現については、中学生にとって身近なものが選定されている。 5 ハロウィーンやバレンタイン、クリスマスカードなどの日常生活から再生可能エネルギーなどの社会的テーマ、日本の城などの文化まで、多様な題材をもとに生徒が主体的に考える機会が用意されている。また、男女平等や聴覚障がいのある野球選手の実話など人権を尊重し、差別をなくすため、イラストを含め表現や活動に配慮がなされている。 京都旅行と和食など、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養うことができる。題材内容については、自己紹介から、学校や地域、国内、海外へと徐々に視点が広がっていくように構成されている。中村哲医師の話などを読むことで、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
英語	3 8	光村	Here We Go! ENGLISH COURSE

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領に基づき、4 技能 5 領域のバランスを考慮して、各 Unit の本文で学習すべき言語材料を提示している。 ○ 各 Unit で基礎的な知識・技能の習得について、言語活動を通して着実に習得する工夫がされている。
	2 内容に関する配慮事項	○ 言語活動においてコミュニケーションの「目的・場面・状況」を明示し、容易に活動に取り組めるように工夫されている。 ○ 実在する海外の中学生の映像などを活用し、国際理解を深め、相手を尊重してコミュニケーションを図ろうとする態度を養うように配慮している。
	3 分量	○ 指導時数…1 年 100 時間 2 年…103 時間 3 年…95 時間 週 4 時間、全 140 時間の指導時数に対して適切である。 ○ 総新語数…1,659 語 (1 年…426 語 2 年…614 語 3 年…619 語) ○ 各学年とも年間 8 Unit から構成されている。
	4 使用上の便宜	○ イラストや人種・身体的特徴については多様性を意として用いている。 ○ アルファベットの文字を書きやすい 5 : 9 : 5 の比率の 4 本線を使用。 ○ 中学校の配当漢字には全てふりがなを付し、読みの負担を軽減。 ○ 紙面に付した QR コードを通して、学習を深める内容・教材を無償で利用でき、家庭学習に活用できるようになっている。
	5 印刷・製本等	○ 横幅の広い AB 判で、読みやすさ、見やすさに配慮。 ○ 環境と健康に配慮した用紙やインクを使用し、耐久性にも優れた製本。
教科ごとの選定の観点		1 小学校での学びを継続し、音声を聞いて概要を捉え、映像を見て確かめる活動を各単元のはじめに設けている。小学校での既習表現や語句に印を付け、学習し易くしている。また、普段の授業で容易に使え、題材と自分をつなげて話す“About You”や帯教材として Story Retelling や Let's Talk ! 等の即興的に自分の考えを伝える力がつくような言語活動が設けられている。 2 各 Unit の中心となっている Part の構成が豊富な左側のストーリーと右側の活動がリンクした形になっており、使用場面と働きが一致した基本文をくり返し練習できるようになっている。そして、Goal のところで再度、言語活動を通して単元のまとめ、振り返りを行うことができる内容となっている。 3 各単元の目標に応じた言語活動を行う Goal のパートでは、毎回、その活動の目的・場面・状況をはっきり明示しており、活動に有効な Active Words の語句も使う場面を意識して分類、整理されている。 4 単元末の Active Grammar や Goal のページに新出文法などとともによく使う語を提示し、巻末付録では「英語のしくみ」のページで基本的な動詞のイメージと意味や使い方の広がりについて捉える機会を与えるなどの工夫がされている。 5 キャリア・情報・福祉・平和・地球環境などさまざまな現代的な課題に向き合うことで、あらゆる分野における多様性を認め、よりよい社会の形成に主体的に参画する精神や態度を養う内容を選定している。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
英語	6 1	啓林館	BLUE SKY English Course

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○ 「確かな英語力を育成する」「生徒の興味・関心と現代の諸問題に対応する」「指導と評価の一体化を実現する」「ICT を効果的に活用できる」という基本方針のもと作成されており、学習指導要領に記載されている内容を不足なく取り扱っている。
	2 内容に関する配慮事項	○ 小学校の学びを振り返る小中接続単元が用意されており、丁寧な接続ができる構成になっている。 ○ 小中の接続を意識し、無理のない学習事項の配列がなされている。 ○ すべての Part に“Enjoy Chatting”という項目があり、即興的にやり取りを行う工夫がなされている。
	3 分量	○ 指導時数は、1 年生約 103 時間、2 年生約 109 時間、3 年生は約 90 時間である。これは、週 4 時間全 140 時間の指導時数に対して適切である。
	4 使用上の便宜	○ 題材や場面にあったイラストや写真が随所に記載されている。 ○ 各 Part 左は英文、右はリスニング教材など形が統一されており、生徒が使用しやすい形になっている。 ○ Focus on Form という項目で、それまでに学習した英文法事項を復習することができ、その内容を活用しながら、コミュニケーション活動を行うことができる。
	5 印刷・製本等	○ 1 年生の英語部分には、UD フォントが用いられており、生徒が見やすく、読み間違えにくい工夫がされている。 ○ A4 版の教科書であり、豊富なイラストや写真を用いて、生徒の学習意欲を高める教科書となっている。
教科ごとの選定の観点		1 小学校の内容を「聞く」「話す」「文字と音」で振り返ることができ、生徒にとっては、慣れ親しんだ方法で英語学習を始めることができるように配慮されている。 2 各 Part では、本文を学習したのち、リスニング活動を行いその定着を図ることができ、最後にはペアでやり取りを行う項目が設定されている。やり取りを行うことで、知識の定着を図ることができるような内容の整理がされている。 3 2・3 年の教科書では、各 Part に Express Yourself という項目があり、目的、場面、状況に応じて活動ができる工夫がなされている。 4 新出単語と共に発音記号も記載されており、その単語のみではなく、それからの英語学習につながる語彙習得ができる。 5 日常的な話題から日本文化、異文化理解など多岐にわたる内容で生徒をひきつけ、深い学びができる工夫がなされており、広い視野から国際人にとって何が求められるのか理解し、国際協調の精神を養うことができる題材となっている。

令和7年度使用中学校教科用図書
調査研究結果報告書

道 徳



京築教育事務所管内教科用図書調査研究協議会

中 学 校 教 科 書 一 覧

教科書種目	道 徳
-------	-----

発行者名	番号	略称	教科書名(シリーズ)
東京書籍(株)	2	東 書	新編 新しい道徳
教育出版(株)	17	教 出	中学道徳 とびだそう未来へ
光村図書出版(株)	38	光 村	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき
日本文教出版(株)	116	日 文	中学道徳 あすを生きる 中学道徳 あすを生きる 道徳ノート
(株)Gakken	224	学 研	新版 中学生の道徳 明日への扉
あかつき教育図書(株)	232	あか図	中学生の道徳
日本教科書(株)	233	日 科	道徳 中学校

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
道徳	2	東書	新編 新しい道徳

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○必修を35教材、付録を4教材設定し、学年の発達段階に応じて柔軟にカリキュラムが組める配列・分量になっている。
	2 内容に関する配慮事項	○教科書冒頭に「1年間で学ぶこと」「道徳科とは」および「教科書の使い方」が掲載されており、オリエンテーションができる内容となっている。 ○教材は、「読み物教材」と「考えよう」「見つめよう」「ぐっと深める」、最後に学習した内容を広げるための「プラス」のコラムが掲載され、ねらいに迫る構成となっている。 ○各教材に「つぶやき」のメモ欄が設けられ、生徒が自由に考えを書き込めるように工夫されており、話し合いや振り返りにも活用できる。 ○ユニット「いじめのない世界へ」、「いのちを考える」を全学年に設け、様々なテーマによる3本の教材を連続して扱い、じっくりと考えを深めることができる構成になるよう配慮されている。 ○小学校道徳科で取り扱われる教材を付録として全学年に取り入れ、過去の学びを振り返ることができる工夫がされている。また、学年間連携教材として登場人物が3年間で成長するストーリーも取り入れられている。 ○巻末の「心情円」を活用することで、自他の心情を視覚的に表現することができる工夫がされている。
	3 分量	○1教材当たりの分量を少なめにすることで、考え、議論する時間を確保できるように工夫されている。
	4 使用上の便宜	○QRコードが全教材にあり、その内容が一目でわかるマークが掲載され、Webコンテンツを利用して、朗読音声や関連動画、ワークシート等が活用できる。 【1年：朗読音声39 ワークシート43 関連資料17 動画8 デジタル心情円7】 【2年：朗読音声39 ワークシート42 関連資料13 動画7 デジタル心情円10】 【3年：朗読音声40 ワークシート41 関連資料12 動画1 デジタル心情円8】 ○教材ごとに用意されている「つぶやき」スペースや巻末の「自分の学びをふり返ろう」で学期末ごとに記述した内容を評価として活用できる。
	5 印刷・製本等	○サイズはAB判であり、印刷は鮮明で、カラーユニバーサルデザインへの配慮がある。
教科ごとの選定の観点		○多様な読み物教材、教材1冊の設定により、 1 道徳的諸価値を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えることができる。 2 各教科等で行う道徳教育を補ったり、深めたり、捉え直したり発展させたりすることができる。 3 自分の生活や考えを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができる。 4 道徳的価値について自分との関わりで考え、発表し合ったり討論などにより協働的に議論したりできる。 5 道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる。 6 体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができる。 7 身近な社会的課題を多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容である。 8 人間尊重の精神にかなうものであり、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容である。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
道徳	1 7	教出	中学道徳 とびだそう未来へ

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○教科書教材1冊から成り、30本の教材に加え、「補充教材」を5本掲載し、郷土資料や自作教材等と差し替え、学校や地域に合ったカリキュラムをつくることで指導内容をより深めることができる構成となっている。
	2 内容に関する配慮事項	○全学年に「いじめ等の人権課題」「持続可能な社会」「生命の尊さ」をテーマに複数の教材とコラムでユニットが構成され、発達段階に応じて学習を深めることができる工夫がされている。 ○教材の冒頭には「導入」の文章を設け、学習のねらいを明確にして教材内容に入ることができるように工夫されている。 ○教材の末尾には「学びの道しるべ」を設け、教材理解だけでなく、物事を多面的・多角的に考えたりする際の助けとなる発問を示している。 ○直前の教材に関連した活動ページ「やってみよう」が各学年に設けられ、体験的な学習を通して学びを深めることができるよう工夫されている。 ○学校種間連携の視点から小学校道徳科で取り扱われる教材、学年間の系統性から学年に応じた主題設定の工夫を通して、より学びを深めるための工夫がされている。 ○教材によっては書き込める欄が設けられ、気づきや学びが見やすい工夫がされている。
	3 分量	○教材は「本教材」と「補助教材」で構成され、指導内容の重点化が図られている。
	4 使用上の便宜	○QRコードから全教材の教材解説を見ることができ、導入時に活用できる。 また、QRコードから補足教材を活用できる教材がある。 【1年：教材解説35 補足教材13】 【2年：教材解説35 補足教材17】 【3年：教材解説35 補足教材13】 ○巻末の「道徳科の学びを振り返ろう」では、学期・学年末の学びの振り返りを通して生徒の評価に活用できる。
	5 印刷・製本等	○サイズはB5変型判であり、印刷は鮮明である。 ○色覚等の特性をふまえた判別しやすい配色や表現方法を心がけている。文章の改行位置を工夫することで文章構成をつかみやすくし、教材の内容理解しやすくなるように工夫されている。
教科ごとの選定の観点		○多様な読み物教材、「学びの道しるべ」の設定により、 1 道徳的諸価値を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えることができる。 2 各教科等で行う道徳教育を補ったり、深めたり、捉え直したり発展させたりすることができる。 3 自分の生活や考えを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができる。 4 道徳的価値について自分との関わりで考え、発表し合ったり討論などにより協働的に議論したりできる。 5 道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる。 6 体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができる。 7 身近な社会的課題を多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容である。 8 人間尊重の精神にかなうものであり、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容である。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
道徳	3 8	光村	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○教科書教材1冊から成る。教材は、1、2学年は35、3学年は34あり、全学年に人権教育の視点に立ったユニット「共に生きるために大切なこととは？」が設けられ、人権に対する意識を高め、差別を許さない心を育み、考えを深められる工夫がなされた構成になっている。
	2 内容に関する配慮事項	○全学年巻頭「道徳の学習を始めよう」では、「道徳科で何をどのように学ぶのか」が説明されており、オリエンテーションができる教材となっている。 ○教材は、魅力的な読み物資料を含めて内容項目ごとにまとめている。 ○教材は「読み物資料」と「てびき」で構成されている。「てびき」で①「考えよう」2問で構成された発問、②見方を変えて、③つなげようの要素からねらいに迫る構成により、1時間の学習の道筋が示されている。 ○全学年に「生命の尊さ」をテーマとした教材が3つずつ位置づけられ、生命の尊さを連続性、有限性、偶然性を始めとした様々な側面から考えることができる工夫がされている。その他、「いじめ問題」「情報モラル」等、発達段階に配慮した内容を複数時間で取り組める内容構成である。 ○毎時間、生徒が自己評価の記録を残す「まなびの記録」が巻末の折込に位置付けられている。 ○全学年の巻末付録に、「日本各地の伝統文化」や「地域の特色を生かした取り組み」、「先人の偉業」などが紹介されている。
	3 分量	○教材は「本教材」「考えよう」「見方を変えて」「つなげよう」で構成され、指導内容の重点化が図られている。
	4 使用上の便宜	○文字の大きさは、発達段階、教材の内容によって配慮されており、本文にはUDフォントを用いている。 ○QRコードからWebコンテンツを利用し、動画や資料、朗読などを活用できるようになっている。1年は朗読17本、動画5本、資料11本、2年は朗読8本、動画8本、資料6本、3年は朗読12本、動画7本、資料7本を活用することができる。 ○巻末折り込みの振り返りシート「まなびの記録」を活用して毎時間、シーズンごとの振り返り、1年間の振り返りを通して生徒の評価ができる。
	5 印刷・製本等	○サイズはB5変型判であり、印刷は鮮明である。 ○ユニバーサルデザインの視点から、写真や図、イラストや漫画が挿入されている。
教科ごとの選定の観点		○多様な読み物教材、「道徳の学習を始めよう」、「てびき」の設定により、 1 道徳的諸価値を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えることができる。 2 各教科等で行う道徳教育を補ったり、深めたり、捉え直したり発展させたりすることができる。 3 自分の生活や考えを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができる。 4 道徳的価値について自分との関わりで考え、発表し合ったり討論などにより協働的に議論したりできる。 5 道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる。 6 体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができる。 7 身近な社会的課題を多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容である。 8 人間尊重の精神にかなうものであり、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容である。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
道徳	1 1 6	日文	中学道徳 あすを生きる 中学道徳 あすを生きる 道徳ノート

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○教科書教材1冊、道徳ノート1冊から成る。教材は35あり、発達段階に即した系統的・発展的な学習内容、目標達成に結びつく内容となっている。
	2 内容に関する配慮事項	○教科書冒頭に「道徳科での学びを始めよう！」および「ミニ教材で考えてみよう」が掲載されており、オリエンテーションができる内容となっている。 ○「いじめと向き合う」「よりよい社会を考える」ためのユニットを各学年複数配置し、多面的・多角的に考え、知識を深めながらスキルを身につける構成が工夫されている。 ○教材は、「読み物教材」と「考えてみよう・自分に+1」で構成しており、ねらいに迫る構成となっている。 ○別冊で「道徳ノート」があり、「考えてみよう・自分に+1」と連動して記入することができる。さらに1教材ごとに「自分への振り返り」がある。 ○学習した内容を広げる「視野を広げて」、学習した内容を理解する助けになるコラム「学びを深めよう」、作者からの思いが書かれた「あすへのメッセージ」があり、視野を広げる工夫がされている。
	3 分量	○教材は「本教材」「あすへのメッセージ」「視野を広げて」「学びを深めよう」で構成され、指導内容の重点化が図られている。
	4 使用上の便宜	○カラーユニバーサルデザインへの配慮がある。 ○読み取りやすさに配慮したUDフォントを使用している。 ○道徳ノートは、友だちの意見や話し合いをメモする欄、毎時間の自分への振り返り、学期ごとの振り返りを活用して、評価資料として活用できる。 ○すべての教材と補助教材で Web コンテンツを利用することができるように QR コードが添付されており、動画、朗読音声、関連資料、道具箱（心情メーター、シンキングツールなど）を活用できるようにしている。 【1年:動画11朗読音声35関連資料・画像12道具箱42ワークシート36外部リンク15】 【2年:動画7朗読音声36関連資料・画像16道具箱44ワークシート37外部リンク10】 【3年:動画9朗読音声37関連資料・画像22道具箱43ワークシート36外部リンク10】
	5 印刷・製本等	○サイズはB5変型判であり、印刷は鮮明である。 ○ユニバーサルデザインの視点から、写真や図、イラストや漫画が挿入されている。
教科ごとの選定の観点		○多様な読み物教材、教材1冊、道徳ノート1冊の設定により、 1 道徳的諸価値を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えることができる。 2 各教科等で行う道徳教育を補ったり、深めたり、捉え直したり発展させたりすることができる。 3 自分の生活や考えを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができる。 4 道徳的価値について自分との関わりで考え、発表し合ったり討論などにより協働的に議論したりできる。 5 道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる。 6 体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができる。 7 身近な社会的課題を多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容である。 8 人間尊重の精神にかなうものであり、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容である。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
道徳	2 2 4	学研	新版 中学生の道徳 明日への扉

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○教科書数材1冊から成る。教材は35あり、発達の段階に応じた学習内容、目標達成に結びつく内容となっている。
	2 内容に関する配慮事項	○教科書冒頭で動機付け、「道徳科で学ぶこと・考えること」が掲載されており、オリエンテーションができる内容となっている。 ○教材は、「読み物資料」と2種類の特設ページ「深めよう」「クローズアップ」で構成されており、「クローズアップ」では、重点テーマである「生命尊重」「いじめ防止」につながる教材を取り入れている。 ○生徒に身近な人物や実話、各地域に関連した内容を扱っているため、生徒の興味や関心を喚起しやすくなっている。 ○1つのテーマに関連する複数の教材を連続して学びを深めるユニット数材が各学年とも3教材「SDGs 持続可能な世界のために」「多様性 色とりどりに輝く」「キャリア 未来に向かって」が設けられ、多面的・多角的な授業展開ができるように工夫されている。 ○教材によっては「メモ」や「深めよう」など書き込める欄が設けられている。
	3 分量	○教材「本教材」と「深めよう」「クローズアップ」で構成されており、指導内容の重点化が図られており、適切である。
	4 使用上の便宜	○「深めよう」「クローズアップ」、切り取り可能な「学びの記録」を活用することで、学期ごとの学びの振り返りとともに評価の参考にできる。 ○QRコードから学習を進める上での情報を活用できる教材もある。 【1年：動画4 写真3 思考ツール4 資料・外部リンク3】 【2年：動画2 写真2 思考ツール2 資料・外部リンク6】 【3年：動画3 写真5 思考ツール2 資料・外部リンク2】
	5 印刷・製本等	○サイズはAB判であり、印刷は鮮明である。 ○UDフォントを使用し、カラーUDに配慮して作成され、生徒の理解を助け、楽しみを持てる写真や挿絵を掲載している。
教科ごとの選定の観点		○多様な読み物教材、冒頭の「道徳科で学ぶこと・考えること」などの設定により、 1 道徳的諸価値を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えることができる。 2 各教科等で行う道徳教育を補ったり、深めたり、捉え直したり発展させたりすることができる。 3 自分の生活や考えを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができる。 4 道徳的価値について自分との関わりで考え、発表し合ったり討論などにより協働的に議論したりできる。 5 道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる。 6 体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができる。 7 身近な社会的課題を多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容である。 8 人間尊重の精神にかなうものであり、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容である。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
道徳	2 3 2	あか図	中学生の道徳

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○教科書数材1冊から成る。教材は35あり、発達の段階に応じた学習内容、目標達成に結びつく内容となっている。
	2 内容に関する配慮事項	○各学年とも教科書冒頭で動機付け、「道徳科の時間は『自分を見つめ、考え、生きる』時間」が掲載されるとともに、一つ目の教材として「道徳 はじまりの時間」が掲載されており、オリエンテーションができる内容となっている。 ○教材は、「読み物資料」と2種類の特設ページ「Thinking」「マイプラス」で構成されており、ねらいに迫る構成となっている。 ○生徒に身近な人物や実話、各地域に関連した内容を扱っているため、生徒の興味や関心を喚起しやすくなっている。 ○「いじめ」を考える教材、「情報モラル」に関する教材、「キャリア」教育に関する教材、「共に生きる社会」を取り上げた教材など、1つのテーマに関連する複数の教材を連続して学びを深める数材が各学年ともに設けられ、多面的・多角的な授業展開ができるように工夫されている。
	3 分量	○教材は「本教材」と2種類の特設ページ「Thinking」「マイプラス」で構成されており、指導内容の重点化が図られ、適切である。
	4 使用上の便宜	○写真や図、表、挿絵がわかりやすく配置され、生徒が主体的に議論できるように工夫されている。 ○二次元コードから学習の導入や終末、また資料として活用できる動画を視聴することができる教材もある。 【1年：導入動画3 終末動画3 資料動画1 Web リンク4】 【2年：導入動画3 終末動画5 資料動画3 Web リンク4】 【3年：導入動画7 終末動画7 資料動画10 Web リンク6】
	5 印刷・製本等	○サイズはB判であり、UDの観点に立ち、色使いやレイアウトなどにも配慮して作成されており、印刷は鮮明である。
教科ごとの選定の観点		○多様な読み物教材、冒頭の「道徳科の時間は『自分で見つめ、考え、生きる』時間」や「道徳 はじまりの時間」などの設定により、 1 道徳的諸価値を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えることができる。 2 各教科等で行う道徳教育を補ったり、深めたり、捉え直したり発展させたりすることができる。 3 自分の生活や考えを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができる。 4 道徳的価値について自分との関わりで考え、発表し合ったり討論などにより協働的に議論したりできる。 5 道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる。 6 体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができる。 7 身近な社会的課題を多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容である。 8 人間尊重の精神にかなうものであり、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容である。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
道徳	2 3 3	日科	道徳 中学校 1 生き方から学ぶ 道徳 中学校 2 生き方を見つめる 道徳 中学校 3 生き方を創造する

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○教科書数材1冊から成る。教材は34あり、発達の段階に応じた学習内容、目標達成に結びつく内容となっている。
	2 内容に関する配慮事項	○各学年とも教科書冒頭で動機付け、「クラスのみならず『道徳授業』を創り出そう」が掲載され、オリエンテーションができる内容となっている。 ○教材は漫画教材や4コマ漫画も配置され、生徒が内容を理解しやすい工夫がされているとともに、ねらいに迫る読み物資料が内容項目順に配置されている。 ○各教材とも、「中心発問」と「ねらいを深める発問」が設定され、生徒の思考を揺さぶる問いを通して、ねらいの達成に向けた工夫がされている。 ○教材を8つのテーマ「いじめ・人権」「生命・健康・福祉」「環境」「キャリア形成」「情報」「国際」「先人の業績・伝統文化」「社会を生きる」に分類し、さまざまなテーマから考えを深め、ねらいに迫る工夫がされている。
	3 分量	○教材は「導入」「本教材」「付録」で構成され、指導内容の重点化が図られており、適切である。
	4 使用上の便宜	○写真や図、表、挿絵がわかりやすく配置され、生徒が主体的に議論できるように工夫されている。 ○各教材とも、メモ欄が設けられている。 ○QRコードから学習を進めるうえでの情報を活用できる教材もある。 【1年：導入動画1 画像：5 音声・外部リンク12】 【2年：導入動画2 画像：3 音声・外部リンク14】 【3年：導入動画1 画像：3 音声・外部リンク8】 ○巻末に「ウェルビーイングカード」がつけられており、話し合い活動に活用できるよう工夫されている。
	5 印刷・製本等	○サイズはAB判であり、UDの観点に立ち、色使いやレイアウトなどに配慮して作成され、印刷は鮮明である。
教科ごとの選定の観点		○多様な読み物教材、冒頭の「道徳科の時間は『自分で見つめ、考え、生きる』時間」や「道徳 はじまりの時間」などの設定により、 1 道徳的諸価値を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えることができる。 2 各教科等で行う道徳教育を補ったり、深めたり、捉え直したり発展させたりすることができる。 3 自分の生活や考えを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができる。 4 道徳的価値について自分との関わりで考え、発表し合ったり討論などにより協働的に議論したりできる。 5 道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる。 6 体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができる。 7 身近な社会的課題を多様な見方や考え方でできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容である。 8 人間尊重の精神にかなうものであり、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容である。